

H29年度 高校改革アンケート 調査結果報告

平成30年3月
高校改革・特別支援教育課

目 次

調査の概要	1
調査結果	3
1 全県一学区制度について	4
2 前期募集制度について	6
前期募集の評価	6
前期募集を評価する理由	8
前期募集を評価しない理由	10
前期募集の募集率	11
前期募集への出願	12
前期募集の準備期間	13
前期募集の出願理由	14
前期募集の不出願理由	15
前期募集の実施時期	16
前期募集合格者の状況	17
3 追検査の導入について	18
4 学校選択・高校生活等について	19
学校選択の理由	19
学校選びの参考	22
生徒の通学時間	23
高校卒業後の希望	25
希望する高校の教育・活動状況	26
高校の就学経費の情報提供状況	27
高校の満足度	28
地域の高校の満足度・特色ほか	32
高校に関する情報	34
5 魅力ある高校づくりについて	35
公立高校への期待・公立高校の役割	35
県外募集	37
理想的な公立高校の規模	38
設置を希望する学科	40
公立高校に求める施設や設備	41
高校と地域との関わり	43

調査の概要

1. 調査の目的

県内の中学生、高校生、保護者並びに中学及び高校の教員の入試制度や公立高校に対する考えや意見を把握し、今後の高校改革推進のための資料を得る。

2. 調査対象

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| (1) 中学3年生 | 全県から地域の偏りなく抽出した中学校(36校)の1学級の生徒全員 |
| (2) 高校1年生 | 県立高校(全日制27校及び定時制7校)及び甲府商業高校の1学級の生徒全員 |
| (3) 保護者 | (1)及び(2)の保護者 |
| (4) 教員 | (1)の中学校及び(2)の高校の全学年全クラス担任 |

3. 調査方法

各学校を通じて調査票を配付の上実施

4. 調査時期

平成29年12月

6. 回収結果

調査対象者	配付数（人）	回収数（人）	回収率
中3生徒	1,032	1,020	98.8%
中3保護者	1,032	964	93.4%
中学校教員	360	356	98.9%
高1生徒	1,180	1,176	99.7%
高1保護者	1,180	1,159	98.2%
高校教員	567	567	100.0%
合計	5,351	5,242	98.0%

参考

- (1) 比率(%)は、各項目ごとに小数点第2位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合もある。
- (2) 各設問において、全体の傾向を示し、必要に応じて次のとおり分析を行った。

経年	昨年度以前の本調査との比較
調査対象者別	その設問に回答した調査対象者ごとに分析
学科別	学科ごとに分析
居住地別	生徒の居住地域ごとに分析
地域別	学校所在地域ごとに分析

調查結果

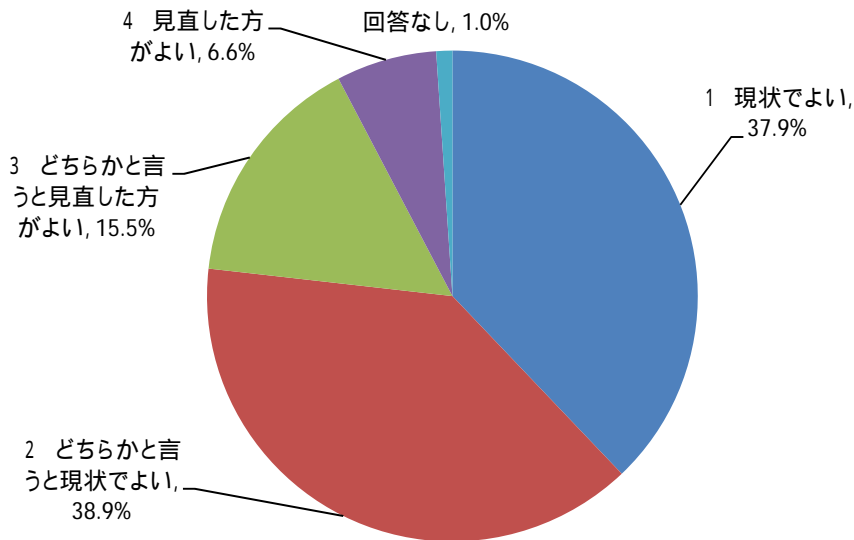
1 全県一学区制度について

【全調査対象者】

平成19年度入試より導入された全県一学区制度について、どのように考えるかを尋ねた。

(質問) 公立高校の入試は、県内どこからでも志願できる全県一学区制となっています。希望の高校に志願できますが、一方で希望する高校に地域間の偏り(ある地域の高校へ集中するなど)も見られます。この制度についてどう思いますか？(次の中から1つ選んでください。)

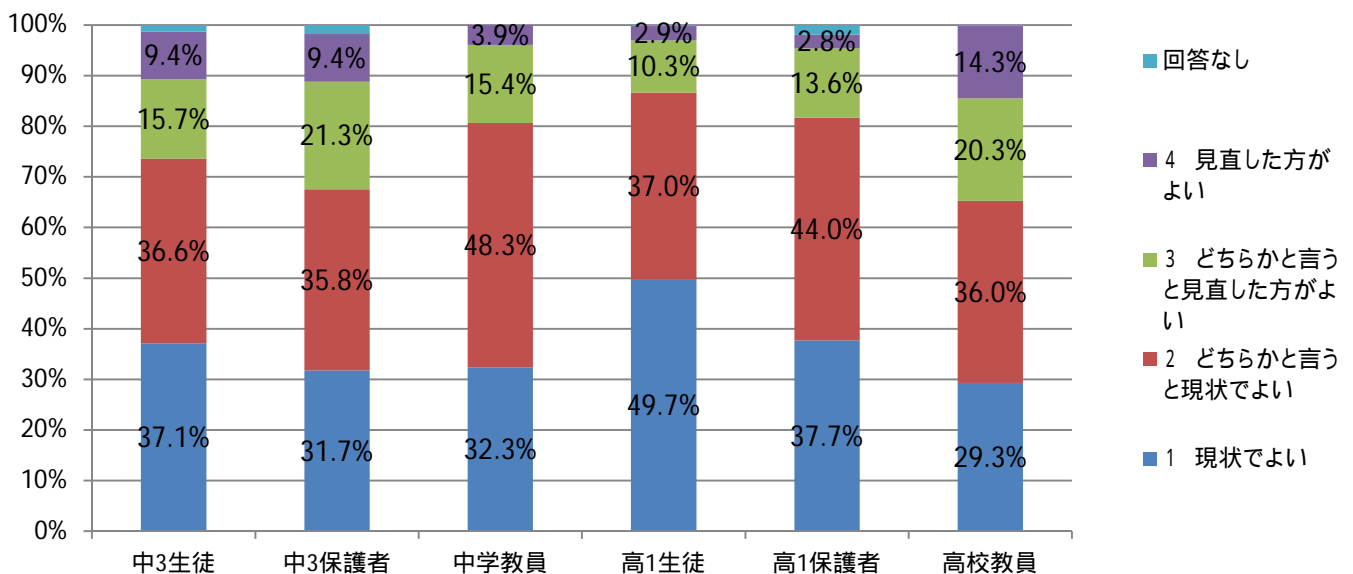
- 1 現状でよい
- 2 どちらかと言うと現状でよい
- 3 どちらかと言うと見直した方がよい
- 4 見直した方がよい



【回答数:5242】

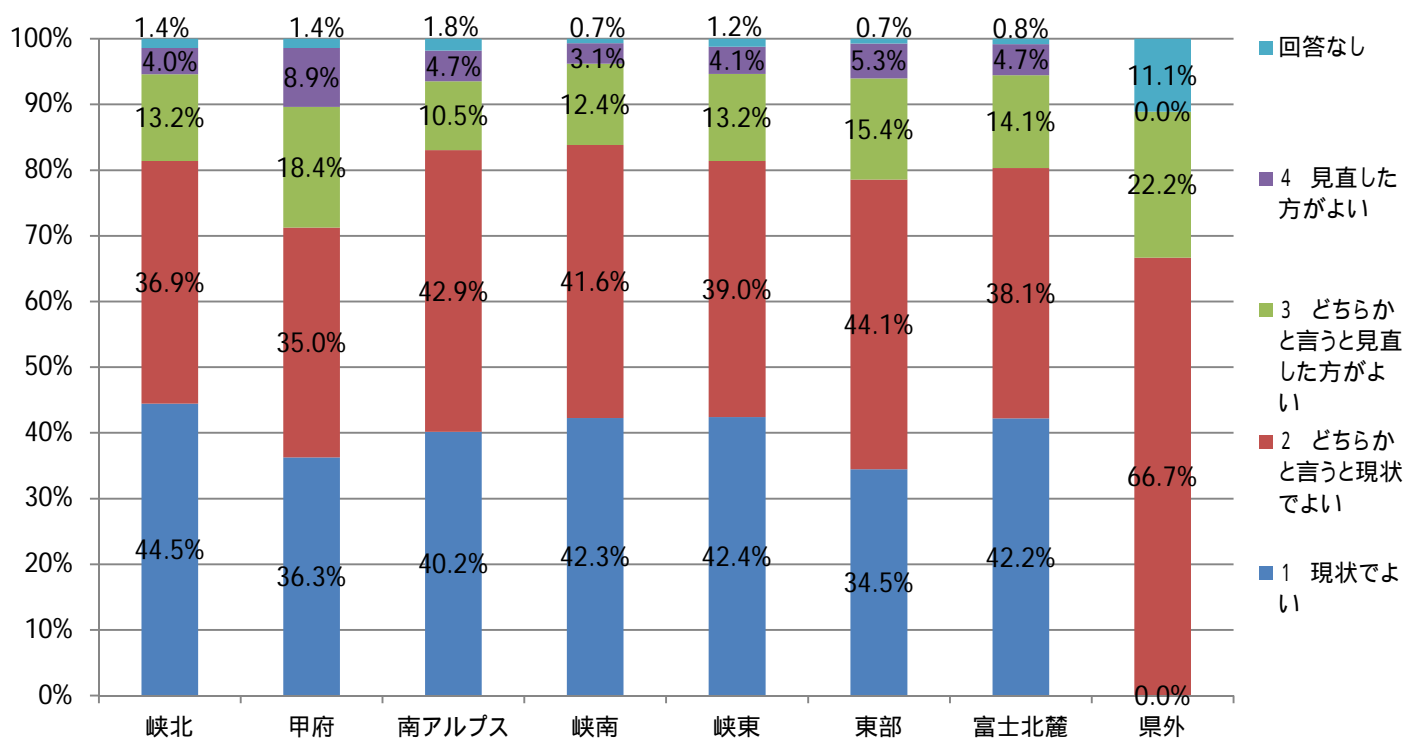
現状を肯定する回答が76.8%、見直しを求める回答が22.1%である。

調査対象者別



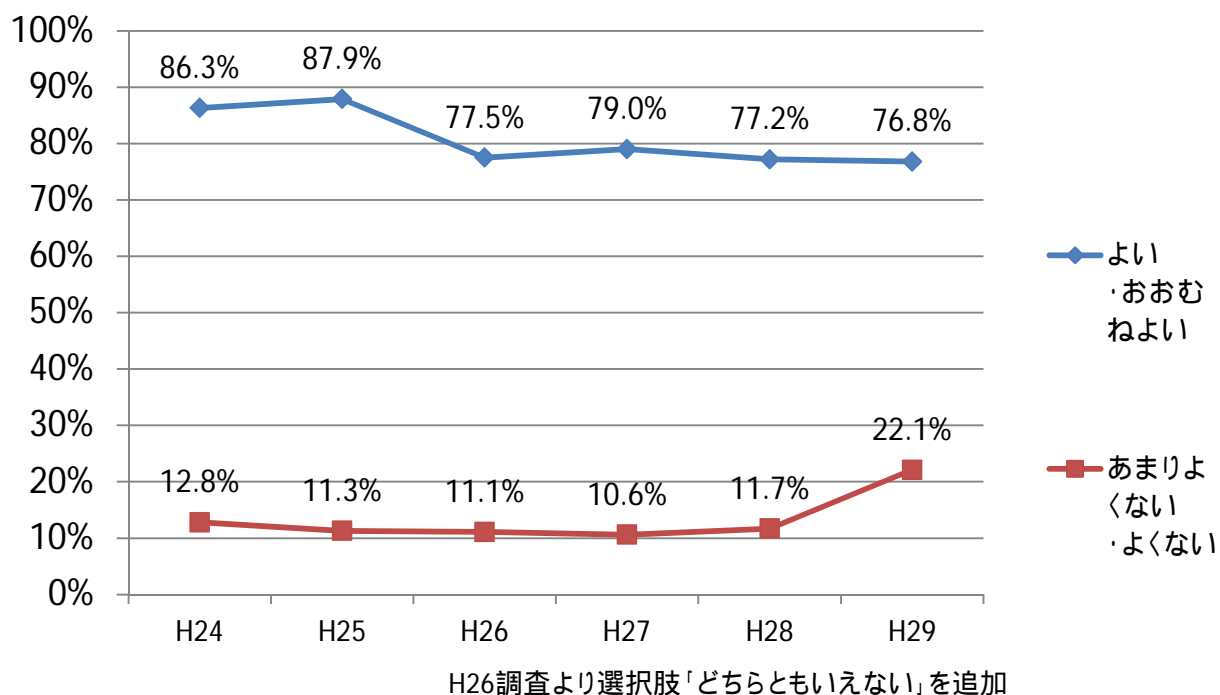
調査対象者別では、中3保護者と高校教員で見直しを求める回答がやや多い。

居住地別(生徒及び保護者)



居住地別では、甲府地域の肯定感が相対的に低い。
東部地域及び県外以外の地域では、現状を肯定する回答が80%を超える状況である。

全県一学区制度評価の推移



現状を肯定する回答がやや減少傾向にある。
H29調査より選択肢を「よくない」から「見直した方がよい」に変更したため、単純な比較はできないものの、見直しを求める声が大きくなっている可能性がある。

2 前期募集制度について

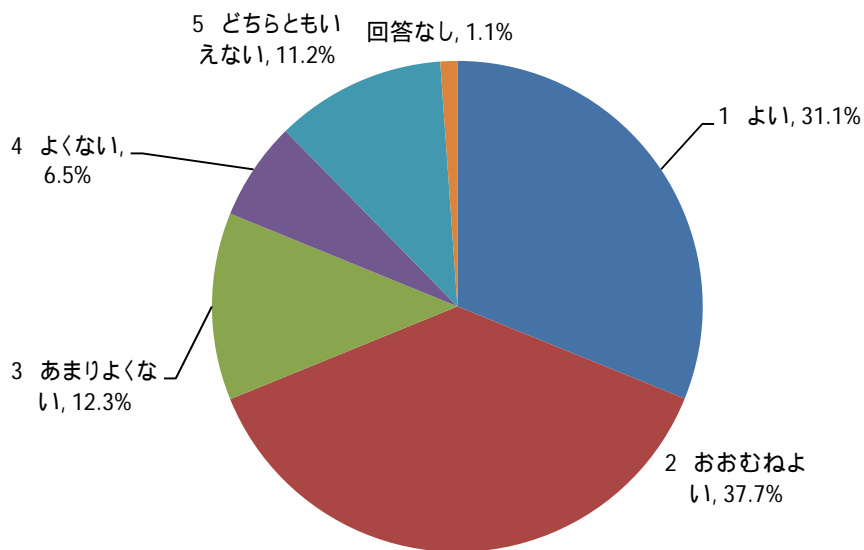
平成19年度入試より導入された前期募集制度について、どのように考えるかを尋ねた。

前期募集の評価

【全調査対象者】

(質問) 全日制の公立高校(甲陵高校を除く。)の入試では、5科目の学力検査によらずに各高校が定める多様な選抜方法からなる前期募集を実施していますが、この制度についてどう思いますか？ (次の中から1つ選んでください。)

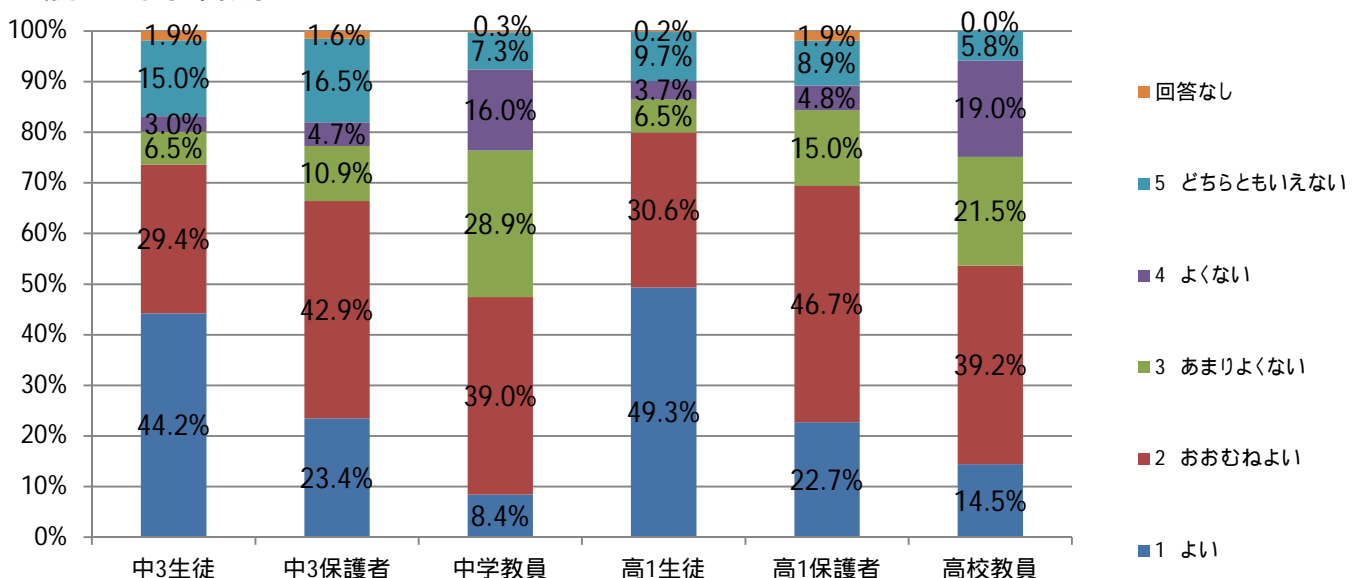
1 よい 2 おおむねよい 3 あまりよくない 4 よくない 5 どちらともいえない



【回答数:5242】

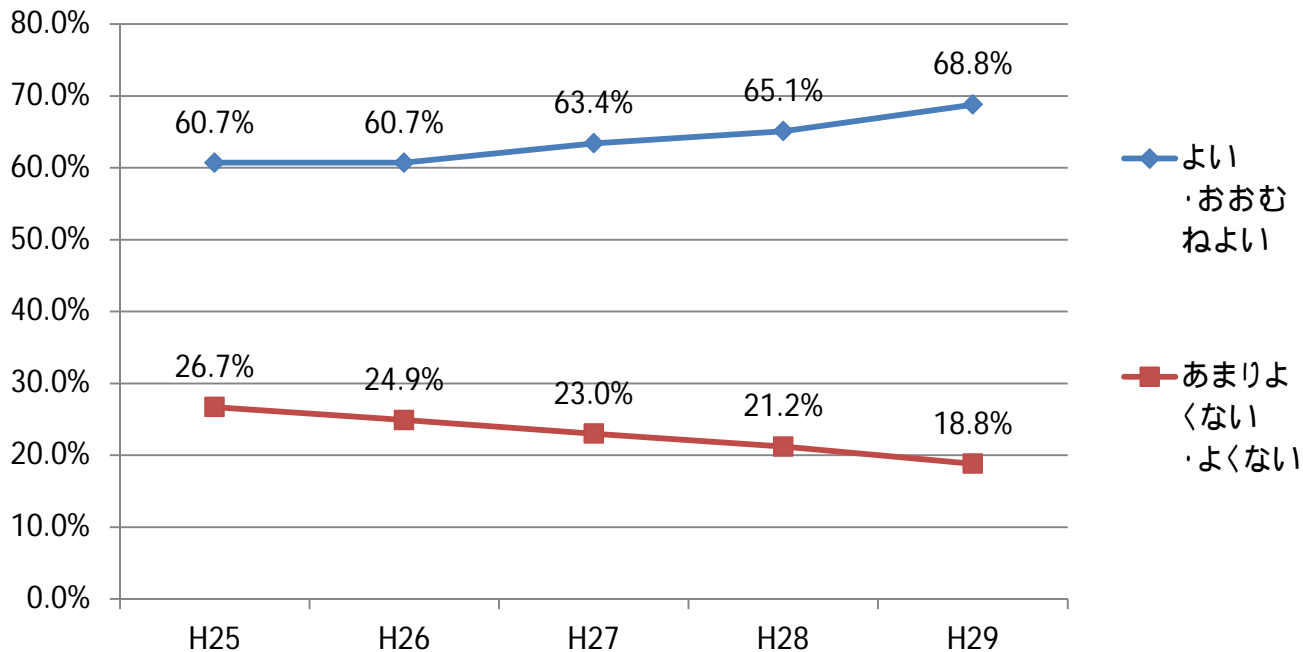
前期募集を評価する回答68.8%、評価しない回答が18.8%である。

調査対象者別



調査対象者別では、中学教員と高校教員で前期募集を評価しない回答が多い。

前期募集評価の推移



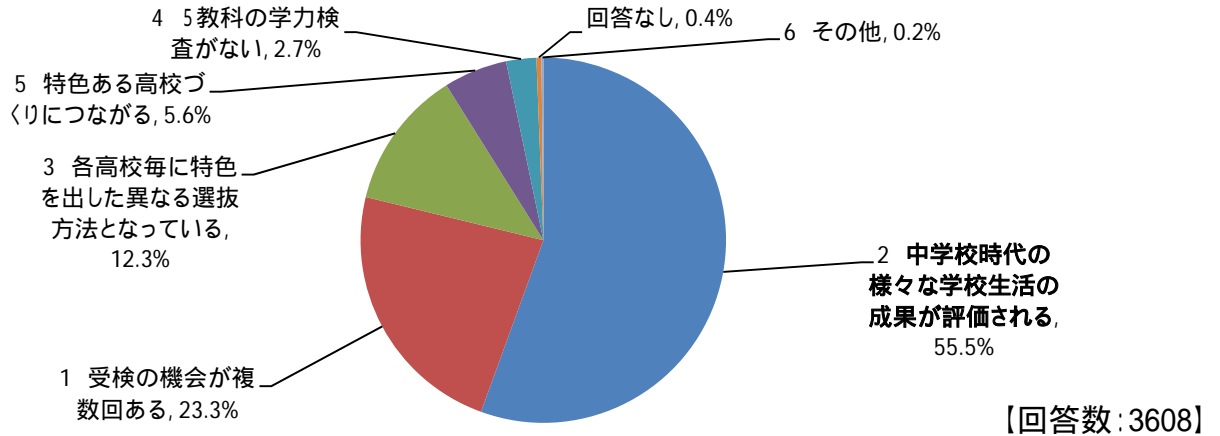
過去5年間の調査結果の推移によると、前期募集を評価する回答の割合が上昇し、評価しない回答が下降している。今後も、よりよい制度となるよう、改善を重ねていく必要がある。

前期募集を評価する理由

【前期募集に肯定的な評価をした者】

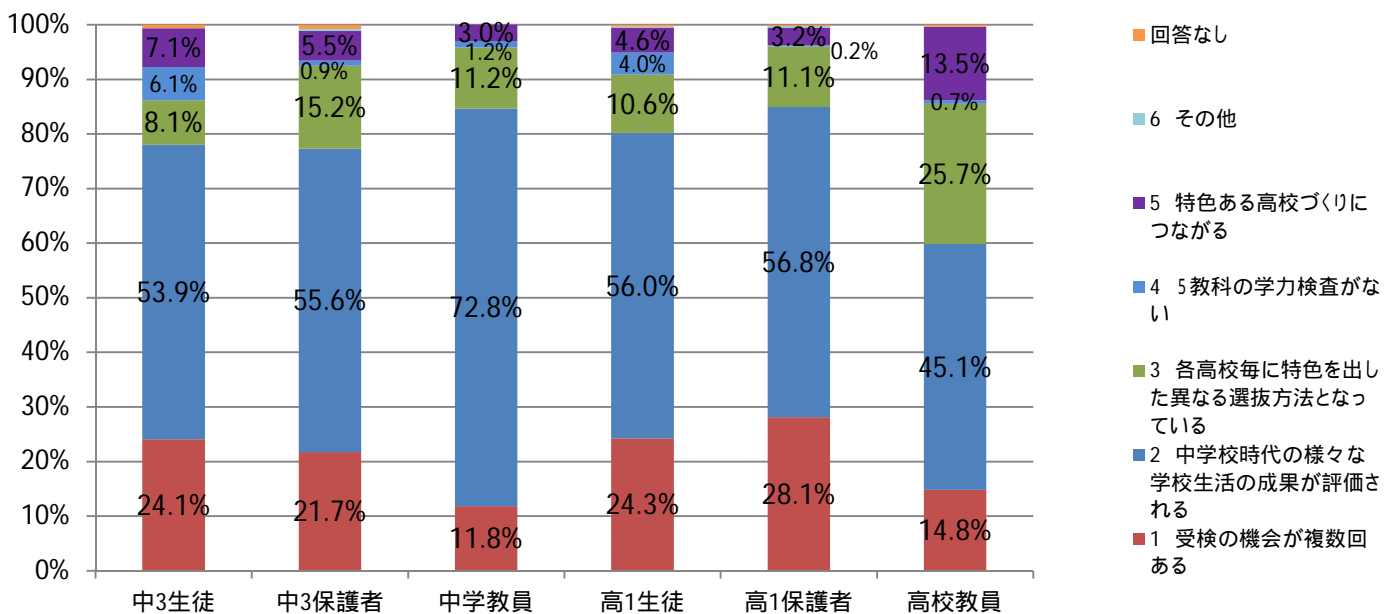
(質問) 前期募集制度を「1 よい」又は「2 おおむねよい」と答えた方にお聞きます。どのような部分が評価できると思いますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 受検の機会が複数回ある
- 2 中学校時代の様々な学校生活の成果が評価される
- 3 各高校毎に特色を出した異なる選抜方法となっている
- 4 5教科の学力検査がない
- 5 特色ある高校づくりにつながる
- 6 その他



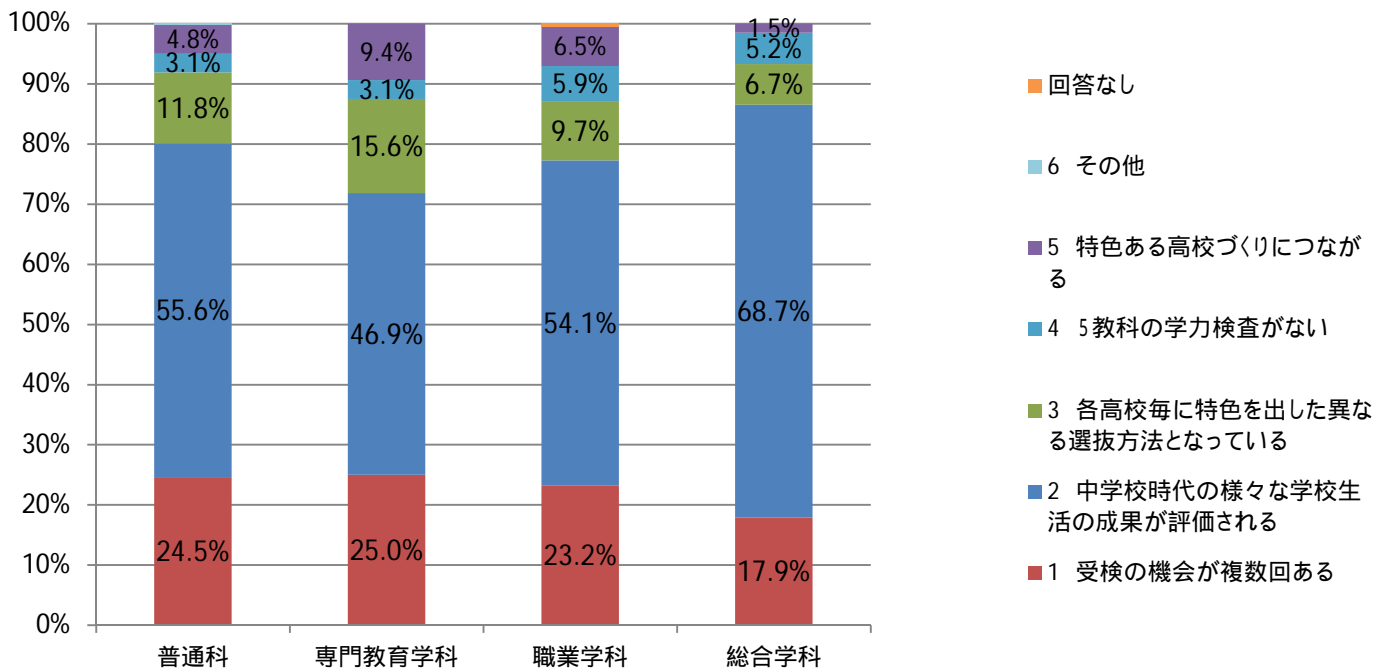
前期募集は主に「中学校時代の学校生活の成果が評価される」点において評価されている。

調査対象者別



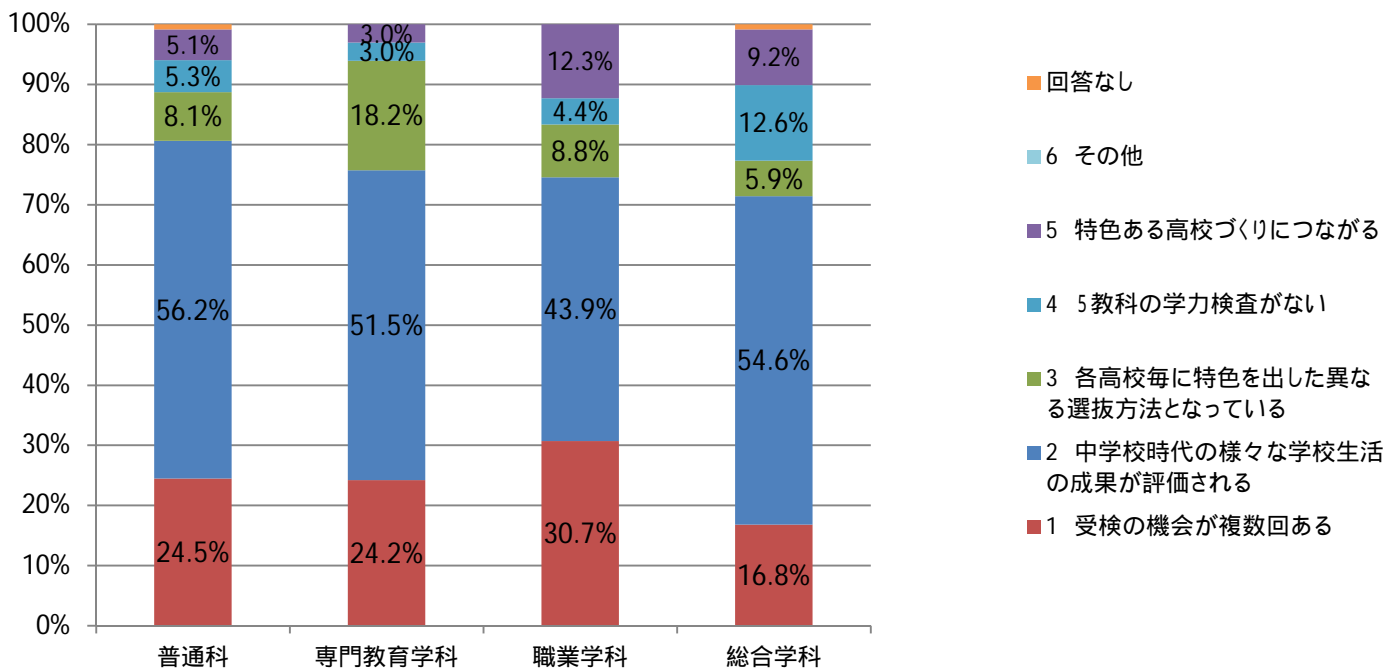
調査対象者別では、中学教員で「中学校時代の様々な学校生活の成果が評価される」の回答率が高い。また、高校教員では「各高校毎に特色を出した異なる選抜方法となっている」「特色ある高校づくりにつながる」の回答率が他の調査対象者より高い。

学科別(高1)



高1生徒が在籍する学科別では、総合学科で「中学校時代の様々な学校生活の成果が評価される」が他の学科在籍者よりも多い。「5教科の学力検査がない」は、在籍学科による大きな差異はない。

学科別(中3)



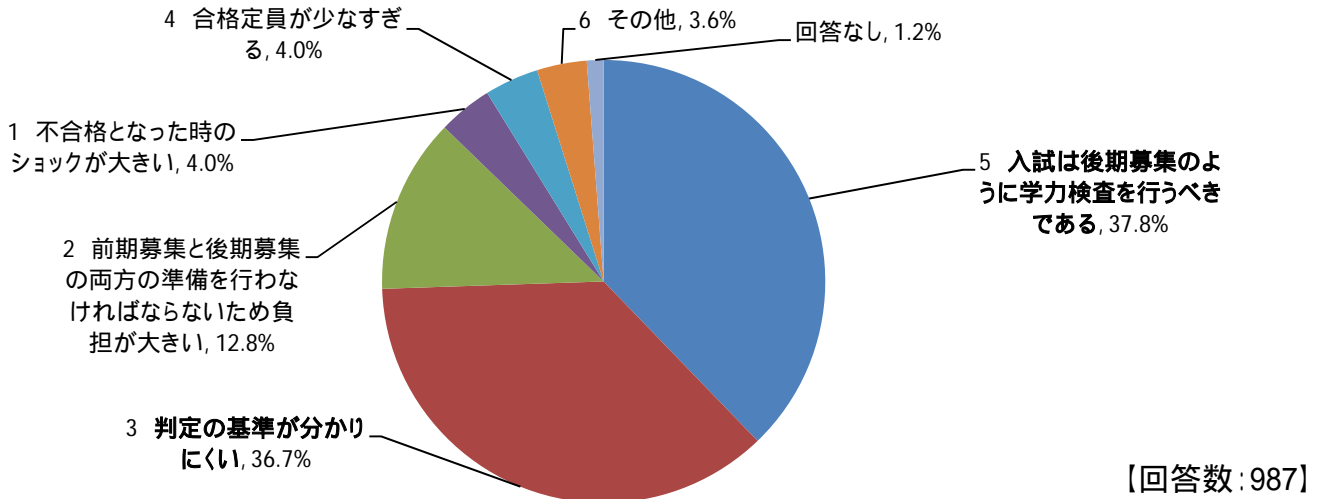
中3生徒が希望する学科別では、職業学科希望者で「中学校時代の様々な学校生活の成果が評価される」が他の学科希望者よりやや少なく、「受検の機会が複数ある」がやや多い。また、総合学科希望者で「5教科の学力検査がない」の回答が他の学科希望者より多い。

前期募集を評価しない理由

[前期募集を否定的に評価した者]

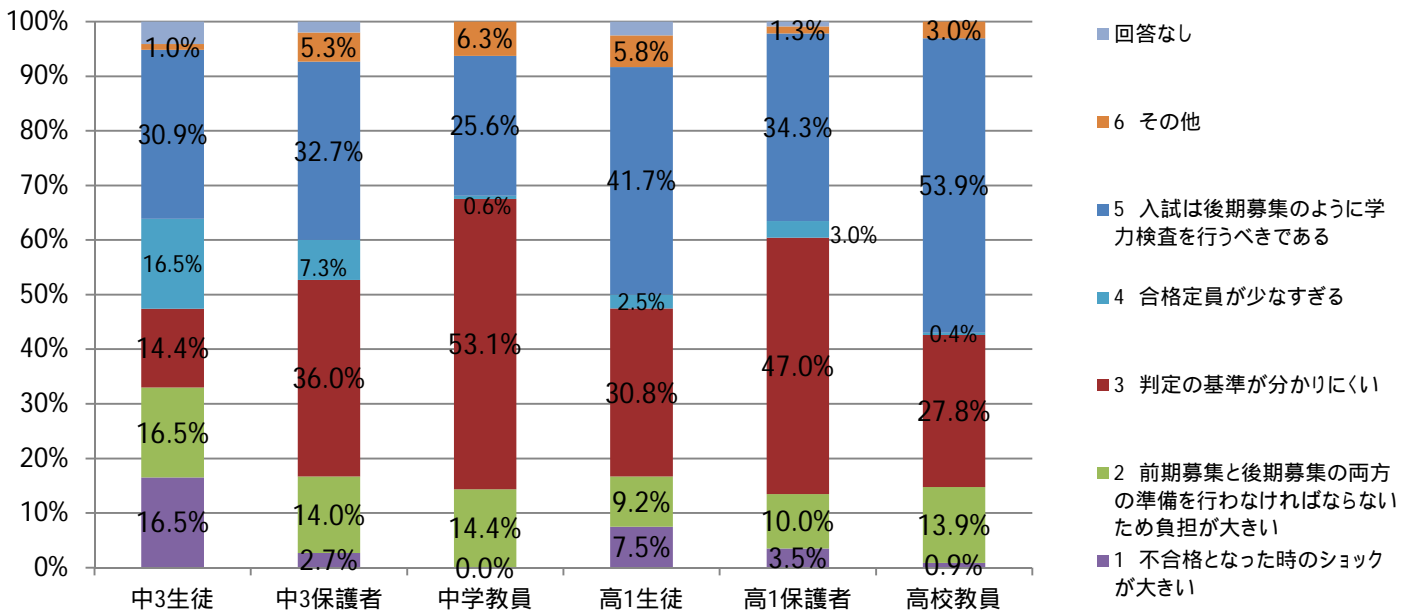
(質問) 前期募集制度を3「あまりよくない」又は「4 よくない」と答えた方にお聞きします。どのような部分が評価できないと思いますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 不合格となった時のショックが大きい
- 2 前期募集と後期募集の両方の準備を行わなければならないため負担が大きい
- 3 判定の基準が分かりにくい
- 4 合格定員が少なすぎる
- 5 入試は後期募集のように学力検査を行うべきである
- 6 その他



前期募集を評価しない主な理由は、「学力検査を行うべき」「判定の基準が分かりにくい」点である。より透明性の高い検査制度とするよう努める必要がある。

調査対象者別

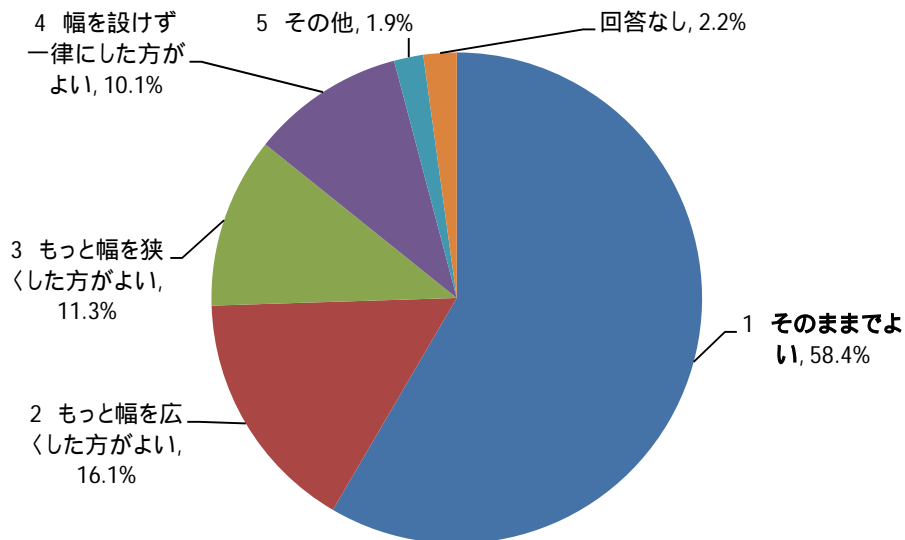


否定的評価の要素として、中3生徒では、「学力検査を行うべき」の回答が多い。中3保護者では「判定の基準が分かりにくい」「学力検査を行うべき」が多い。中学教員では、「判定の基準が分かりにくい」が半数以上を占める。高校教員では「学力検査を行うべき」が半数以上を占める。

(質問) 前期募集の募集率は、一定の幅の中で各高校が、学科ごとに定めております。例えば普通科では10%から40%まで幅があります。この前期募集の募集率についてどう思いますか？

(次の中から1つ選んでください。)

- 1 そのままでよい
- 2 もっと幅を広くした方がよい
- 3 もっと幅を狭くした方がよい
- 4 幅を設けず一律にした方がよい
- 5 その他



【回答数:5242】

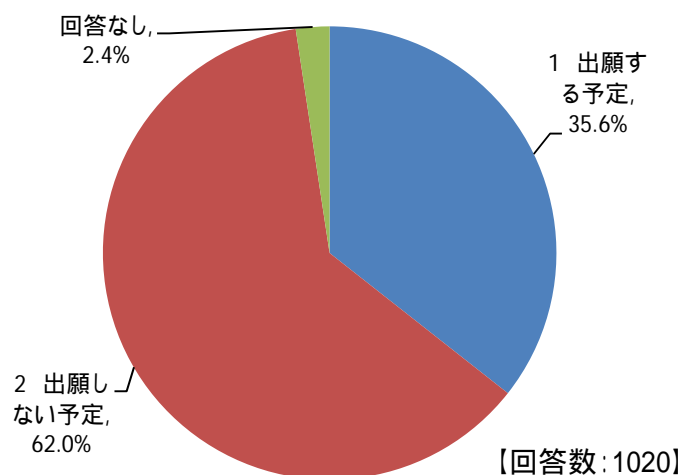
前期募集の募集率について、現状維持の回答が半数である。2～4の回答については、概ね拮抗している。

(質問) 前期募集に出願しますか？ / 前期募集に出願しましたか？

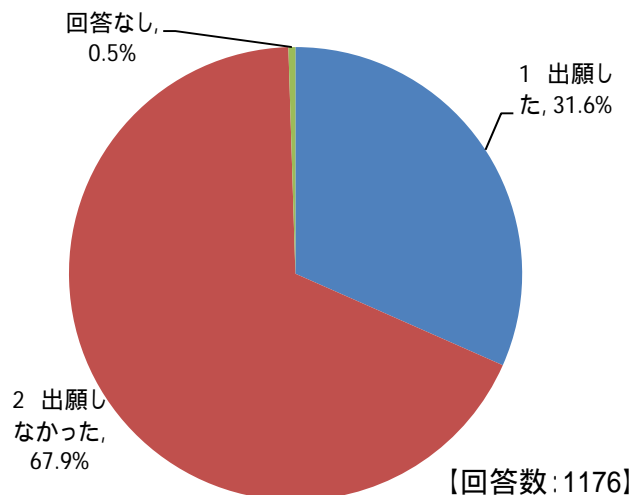
(次の中から1つ選んでください。)

- 1 出願した / 出願する予定 2 出願しなかった / 出願しない予定

中3生徒

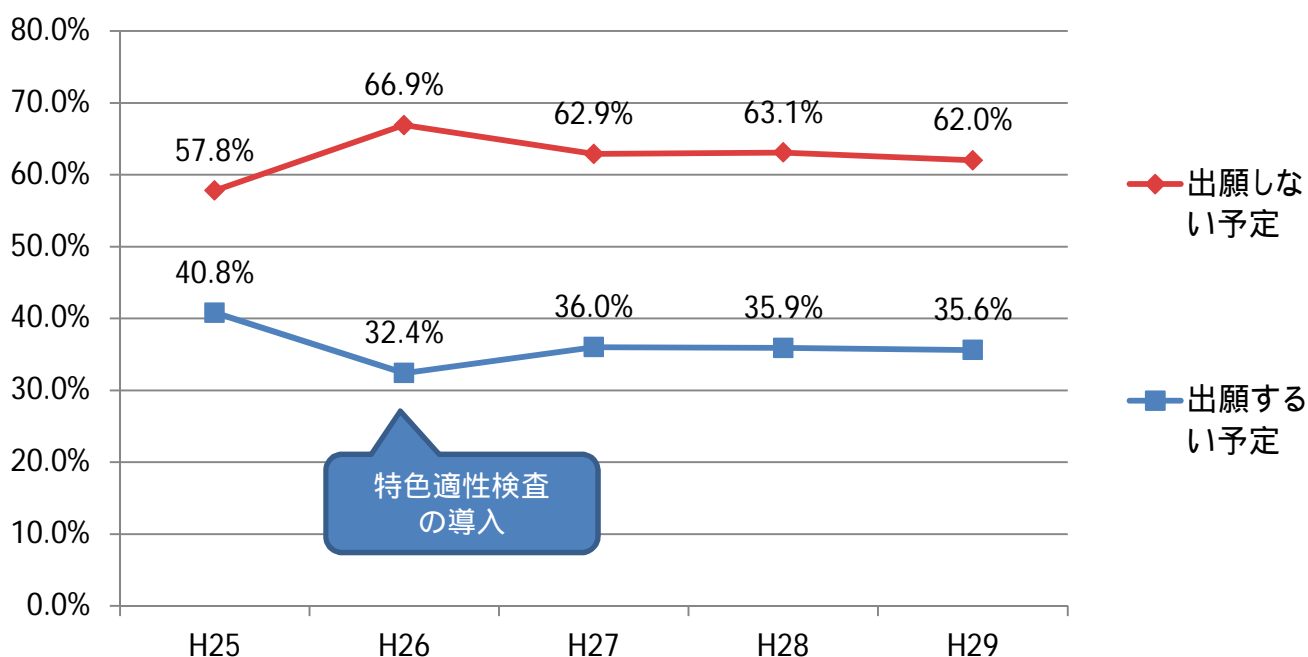


高1生徒



前期募集の出願する予定の中学3年生、出願した高校1年生の割合は概ね30%強である。「複数回の受検機会」は、前期募集導入の目的の一つであるため、より志願しやすい制度としていく必要がある。

中3生徒の前期募集出願予定の推移



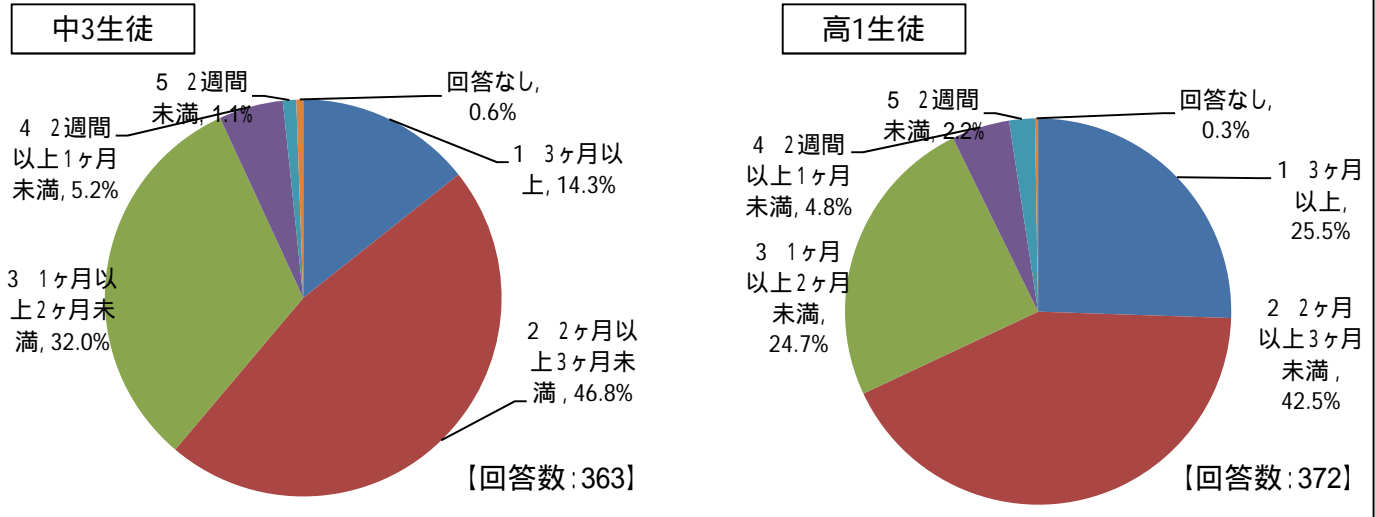
過去5年間の調査結果の推移によると、特色適性検査の導入年次の調査において、出願予定の回答が減少したが、その後は若干回復し、ほぼ横ばいで推移している。

前期募集の準備期間

【前期募集に出願する/
した中3生徒・高1生徒】

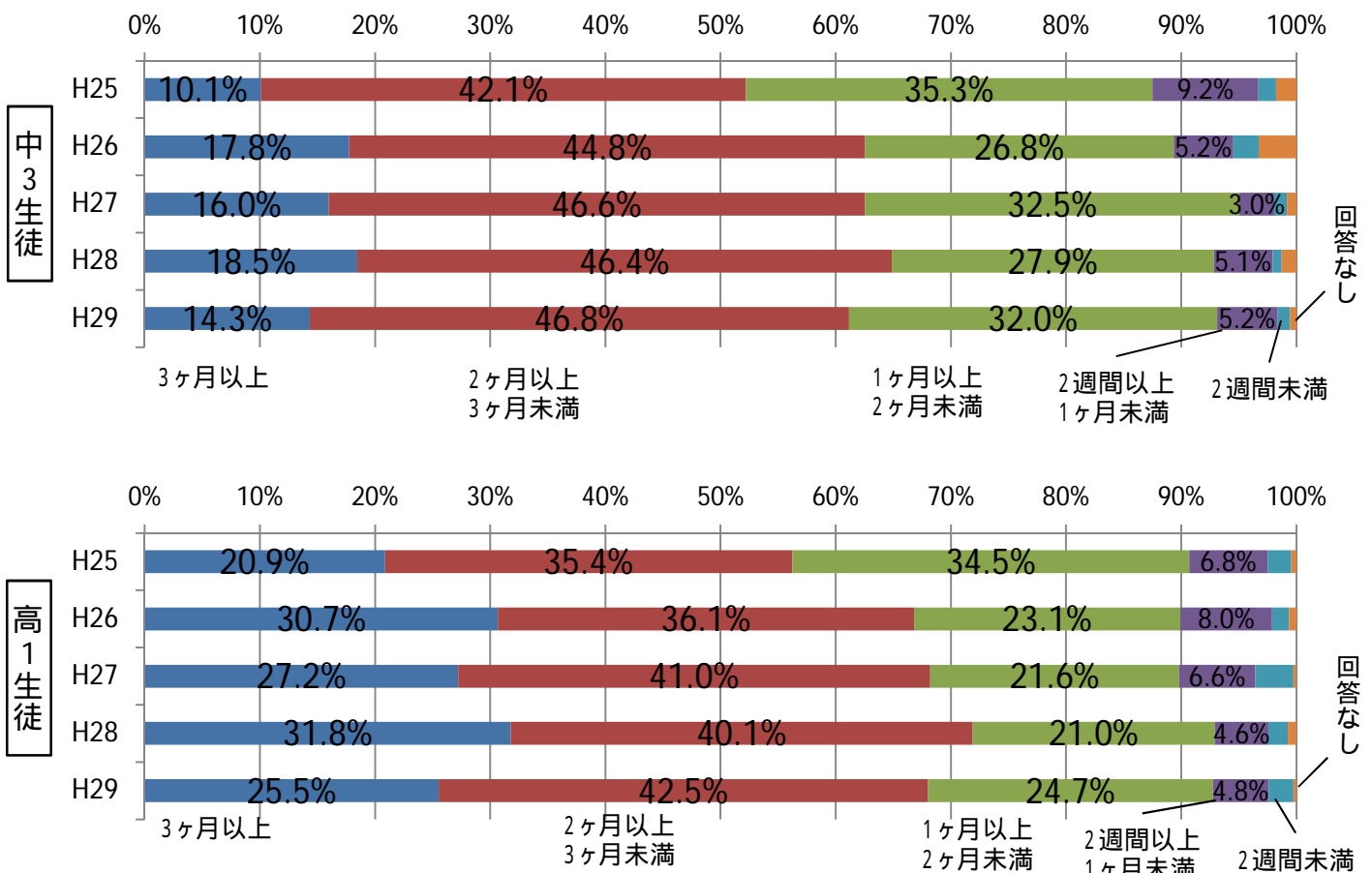
(質問) 面接や特色適性検査などの前期募集検査に対する準備をどのくらいの期間行う予定ですか / どのくらいの期間行いましたか? (次の中から1つ選んでください。)

- 1 3ヶ月以上 2 2ヶ月以上3ヶ月未満 3 1ヶ月以上2ヶ月未満
4 2週間以上1ヶ月未満 5 2週間未満



入学した高校1年生では、準備期間が2ヶ月以上が約2/3を占めている

前期募集準備期間の推移



特色適性検査が導入された平成26年度調査以降、準備期間が長くなる傾向が見られる。前期募集を受検するに当たっての準備にかかる負担の軽減策の検討も必要である。

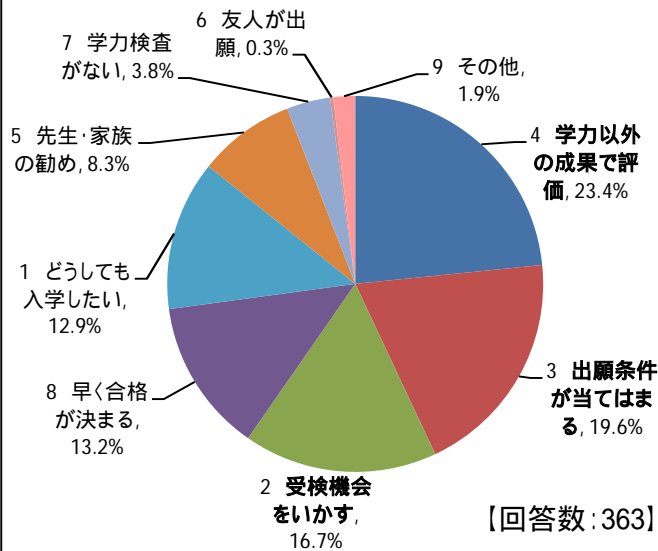
前期募集の出願理由

【前期募集に出願する/
した中3生徒・高1生徒】

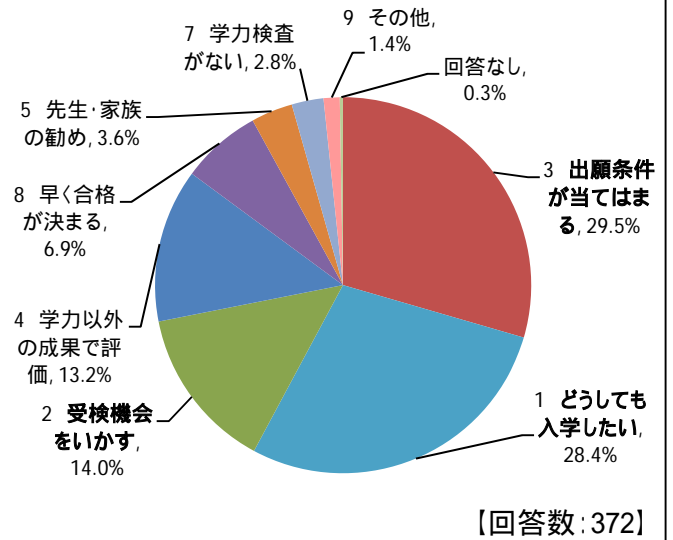
(質問) 前期募集に出願する(した)理由は何ですか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 どうしても入学したい学校・学科(コース)だから
- 2 受験機会を最大限生かそうと思うから
- 3 入学したい高校の「出願条件」などが当てはまり、得意なことが活かせると思うから
- 4 学力以外の成果が評価されるから
- 5 先生や家族に勧められたから
- 6 友人が出願するから
- 7 学力検査(5教科)がないから
- 8 早く合格(内定)が決まるから
- 9 その他

中3生徒

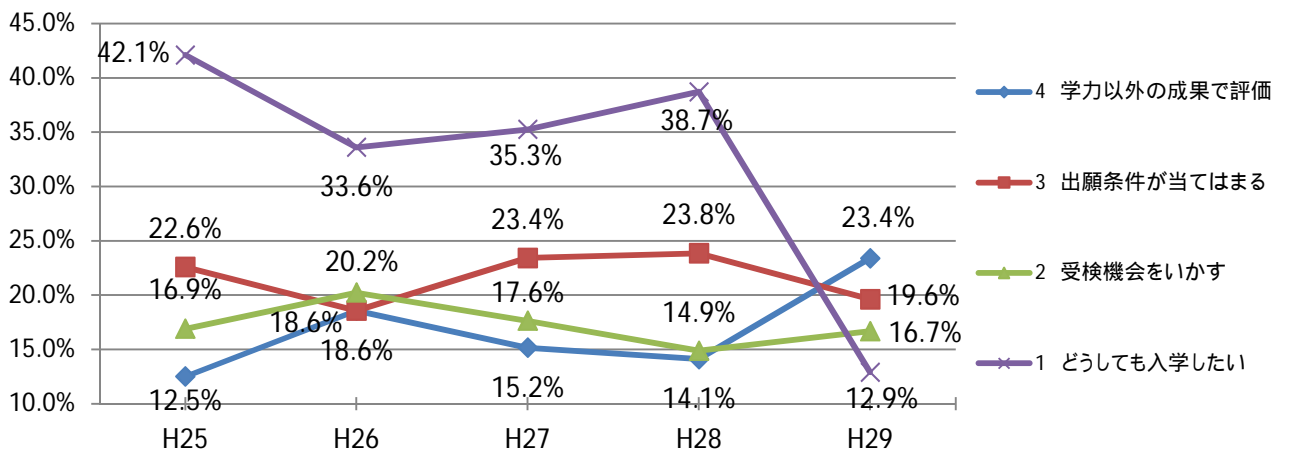


高1生徒



中3生徒では「学力以外の成果の評価」や「出願条件が当てはまる」ことが主な出願理由となっている。高1生徒では「出願条件に当てはまる」ことや「どうしても入学したい学校・学科」が主な出願理由である。「出願の条件」は、共通して大きな要素の一つである。

中3生徒の主な出願理由の推移



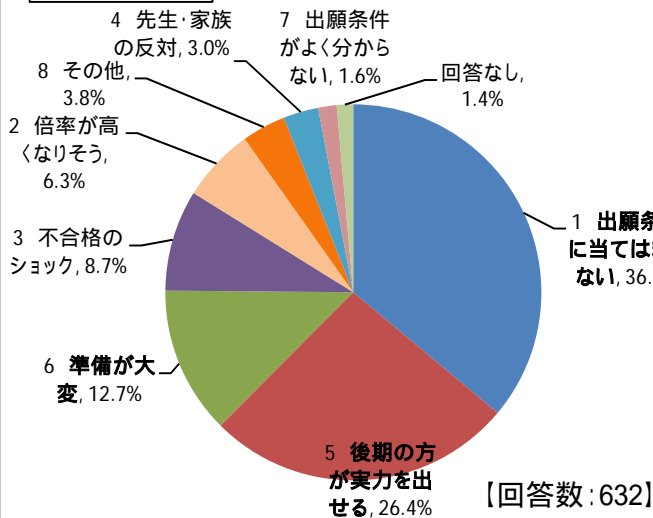
前期募集の不出願理由

【前期募集に出願しない/
しなかった中3生徒・高1生徒】

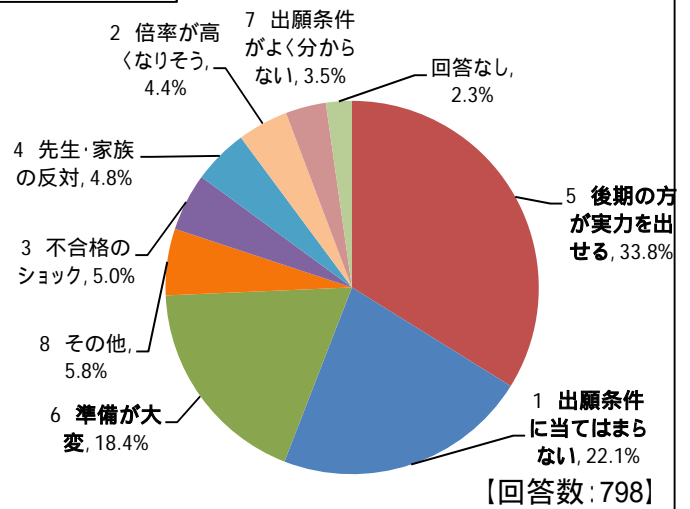
(質問) 前期募集に出願しない(しなかった)理由は何ですか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 高校の「出願条件」などに当てはまらないと思うから
- 2 倍率が高くなりそうだと思うから
- 3 不合格になるとショックが大きいと思うから
- 4 先生や家族に反対されたから
- 5 後期募集(学力検査)の方が実力を出せると思うから
- 6 面接、特色適性検査などの準備が大変だと思うから
- 7 出願の条件がよく分からないから
- 8 その他

中3生徒



高1生徒

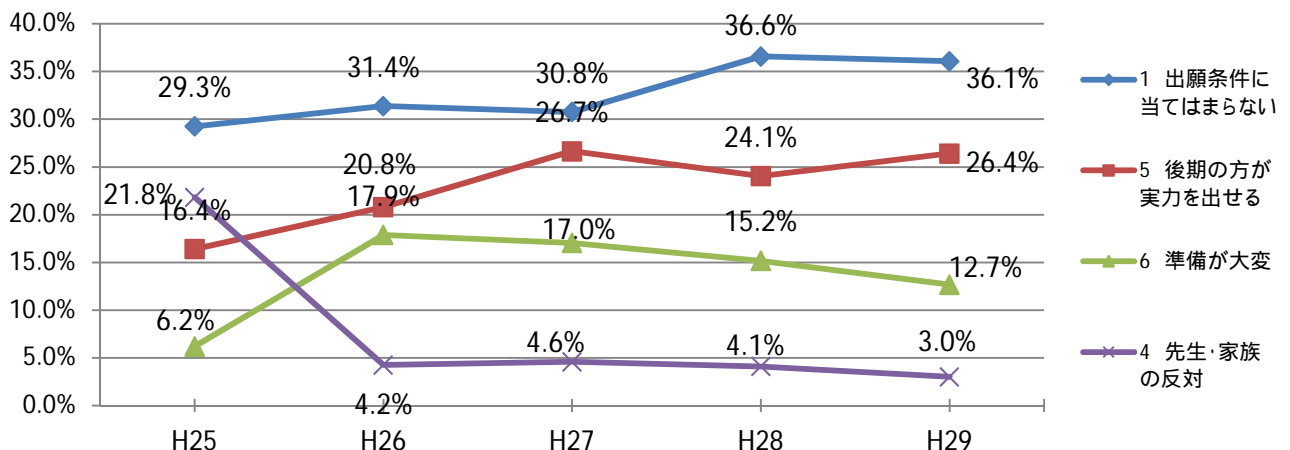


中3生徒では「出願条件に当てはまらない」、「後期の方が実力を出せる」、「準備が大変」という点が出願しない主な理由となっている。

高1生徒では「後期の方が実力を出せる」、「出願条件に当てはまらない」、「準備が大変」という点が出願しなかった主な理由であり、中3生徒とおおむね同じ傾向である。

各高校で特色化につながる「出願の条件」を提示している。「出願の条件」については、概ね理解されているところであるが、少数ながら、「出願条件がよく分からない」回答があった。受験生全員に理解できるように、条件の設定や記載等についてわかりやすく改善していく必要がある。

中3生徒の主な出願しない理由の推移

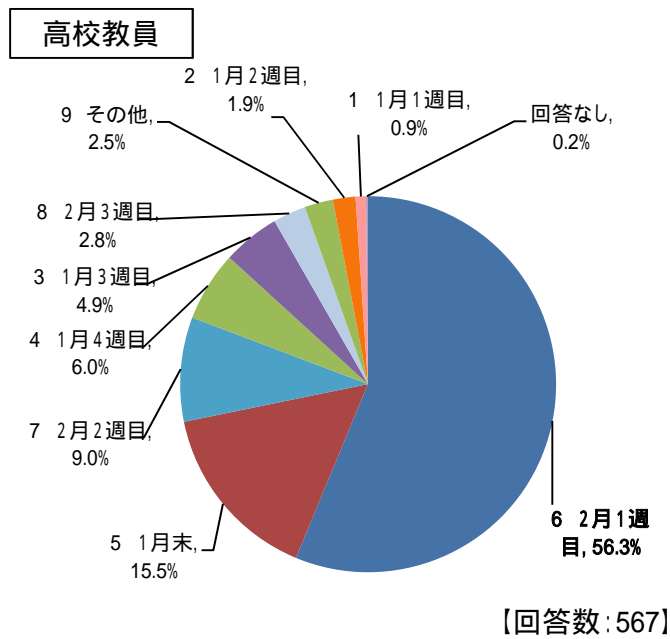
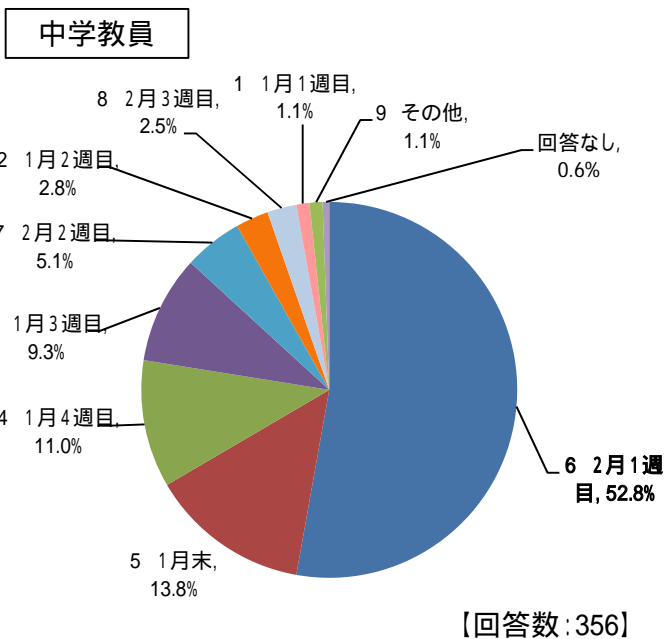


H29年調査より選択肢を1項目追加「出願の条件に当てはまらない」、「後期の方が実力が出せる」という回答が増加傾向にある。

(質問) 前期募集の実施はどの時期に行われると良いと考えますか？

(次の中から1つ選んでください。)

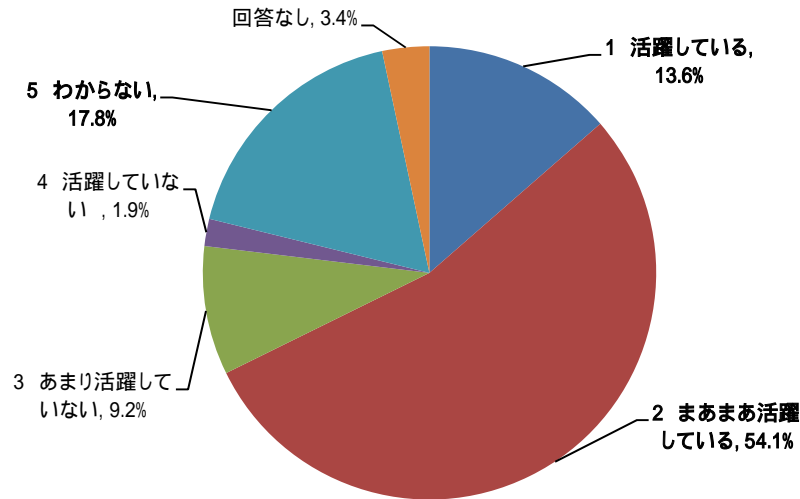
- 1 1月1週目 2 1月2週目 3 1月3週目 4 1月4週目 5 1月末
 6 2月1週目 7 2月2週目 8 2月3週目 9 その他



中学教員、高校教員ともに現在の前期募集実施時期である「2月1週目」の回答が過半数である。現在の入試日程が定着しているものと考えられる。

(質問) 現在の勤務校において、前期募集で合格した生徒は、全体としてどのような状況ですか？
(次の中から1つ選んでください。)

- 1 活躍している 2 まあまあ活躍している 3 あまり活躍していない
- 4 活躍していない 5 わからない



【回答者: 高校教員 回答数: 567】

前期募集で合格した生徒の状況は、「活躍している」「まあまあ活躍している」の回答が67.7%である。前期募集は、学校の特色化に概ね寄与していると考えられる。

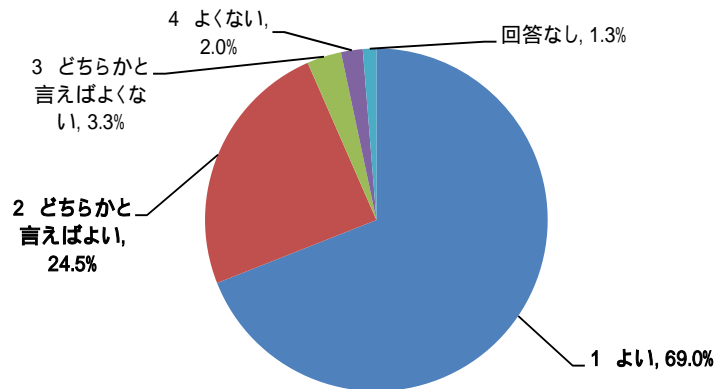
一方、前期募集で合格した生徒の状況が「わからない」とする回答も17.8%あり、校内での分析や情報共有を進めるなど、客観的な把握を元に前期募集を活用した特色化について取り組むことが求められる。

3 追検査の導入について

平成30年度入試より導入された全日制後期募集・定時制募集に係る追検査について、どのように考えるかを尋ねた。

(質問) 平成30年春の入試より、後期募集にインフルエンザ罹患者等に対する追検査を導入しました。これについてどう思いますか？ (次の中から1つ選んでください。)

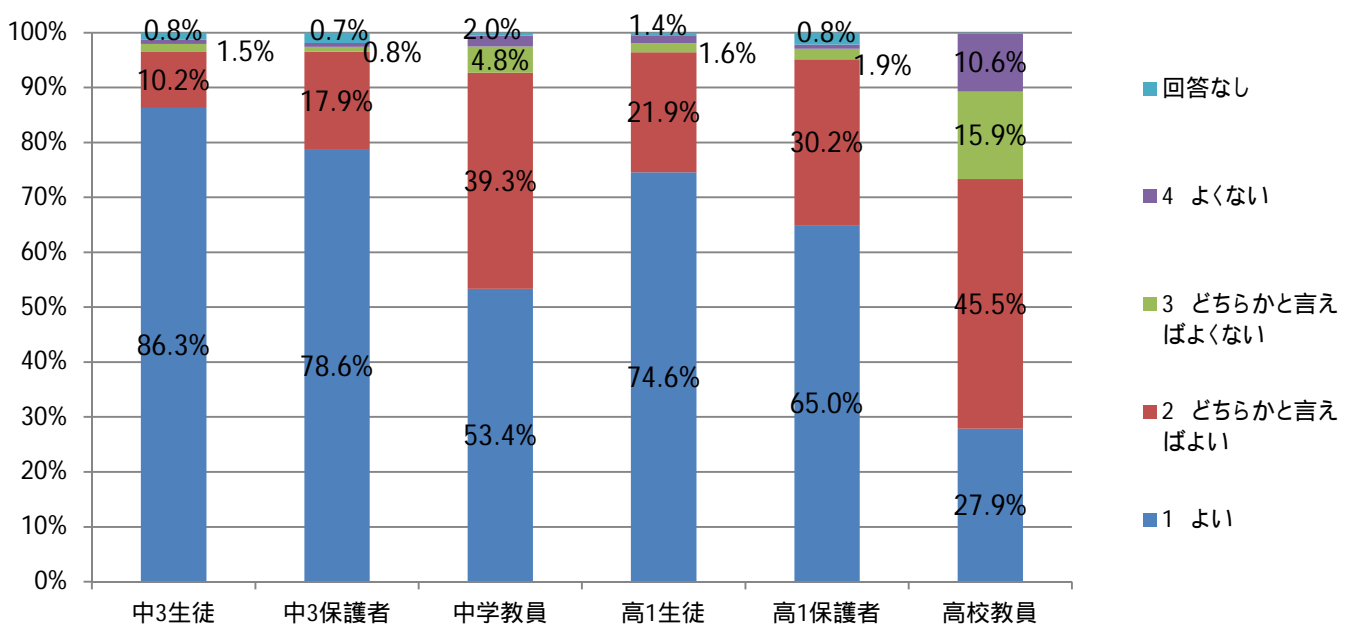
1 よい 2 どちらかと言えばよい 3 どちらかと言えばよくない 4 よくない



【回答数:5242】

H30年度入試より導入した追検査については、肯定的に捉える回答が93.5%に上っている。

調査対象者別



調査対象者別では、高校教員で肯定的回答がやや少ないが(73.4%)、全体的には、全対象者で追検査導入に対する評価は良好である。

4 学校選択・高校生活等について

生徒の学校選択や学校選択等について、考え方を尋ねた。

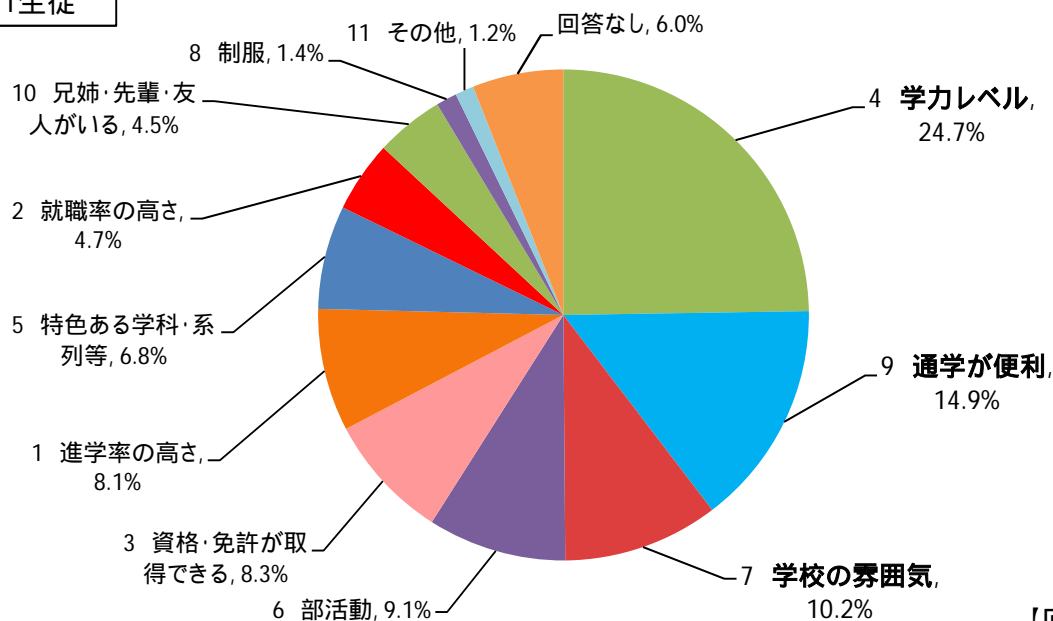
学校選択の理由

【高1生徒・保護者】

(質問) あなた(あなたのお子様)が高校を選ぶとき、何に重きを置きましたか？(次の中から2つ以内で選んでください)

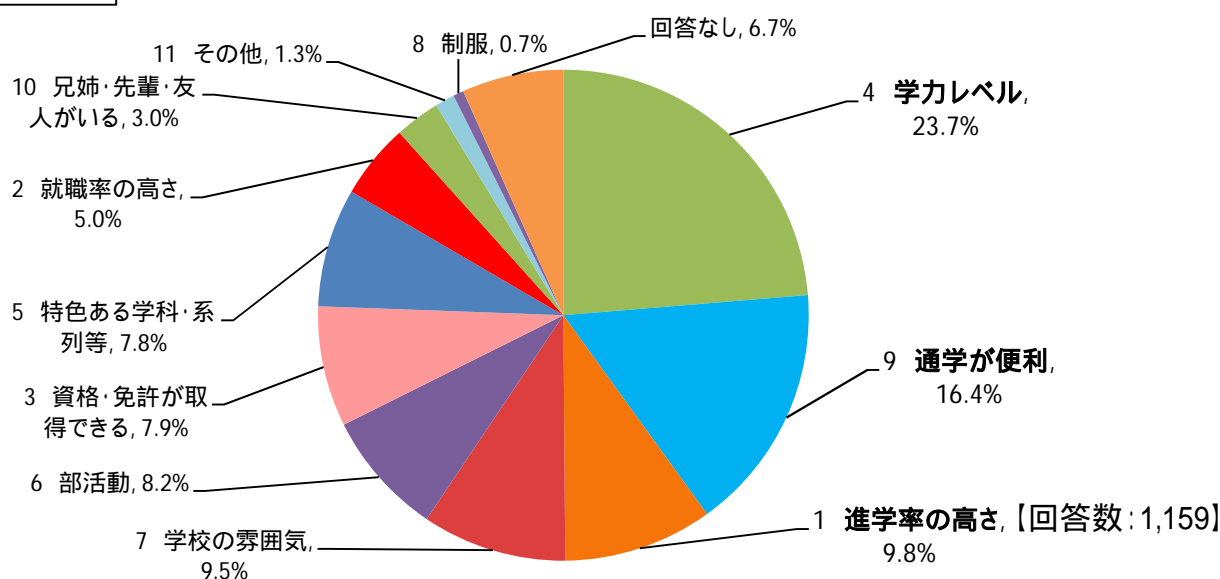
- 1 進学率の高さ 2 就職率の高さ 3 資格・免許が取得できる 4 学力レベル
- 5 特色ある学科・系列等 6 部活動 7 学校の雰囲気 8 制服
- 9 通学が便利 10 兄弟・先輩・友人がいる 11 その他

高1生徒



【回答数:1,176】

高1保護者



【回答数:1,159】

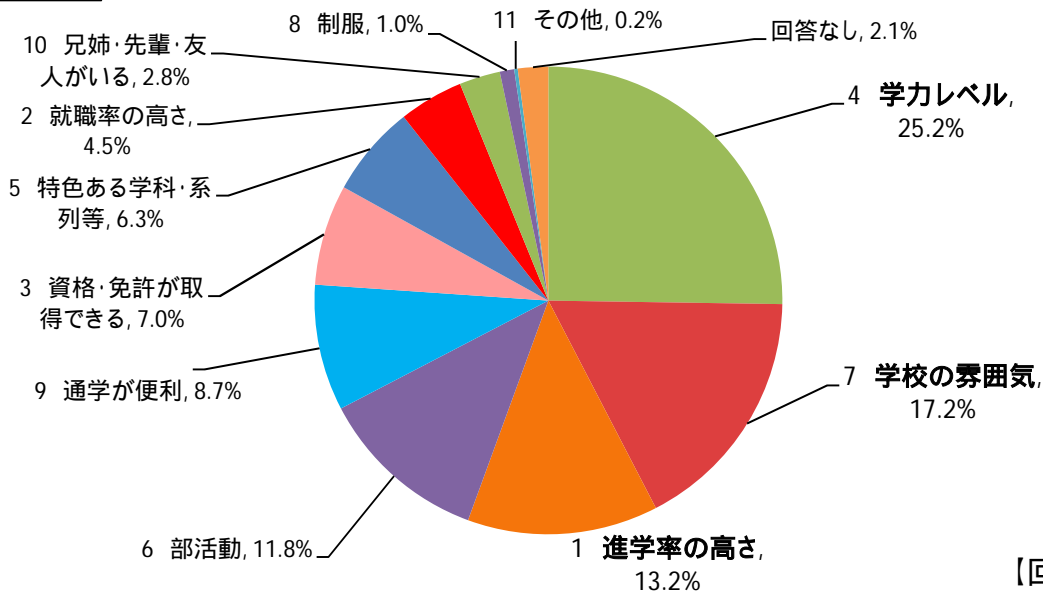
高1生徒及び保護者では、「学力レベル」「通学が便利」が共通した主要な理由である。生徒では「学校の雰囲気」、保護者では「進学率の高さ」も、学校選択の大きな要素となっている。

中高生徒・保護者において、学校選択の理由として「学力レベル」が共通して最も重要な要素となっている。

(質問) あなた(あなたのお子様)が高校を選ぶとき、何に重きを置きますか？(次の中から2つ以内で選んでください)

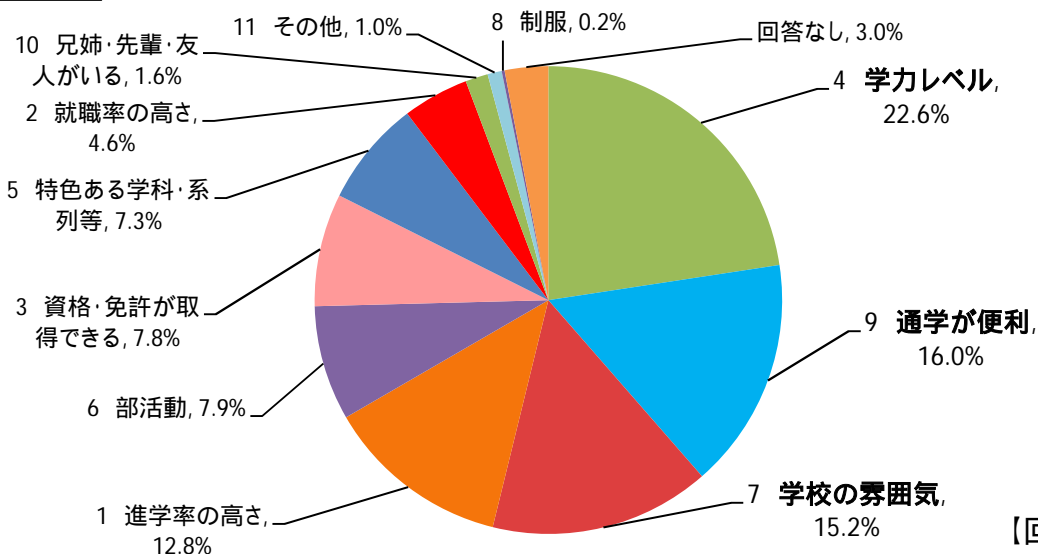
- 1 進学率の高さ 2 就職率の高さ 3 資格・免許が取得できる 4 学力レベル
- 5 特色ある学科・系列等 6 部活動 7 学校の雰囲気 8 制服
- 9 通学が便利 10 兄弟・先輩・友人がいる 11 その他

中3生徒



【回答数:1,020】

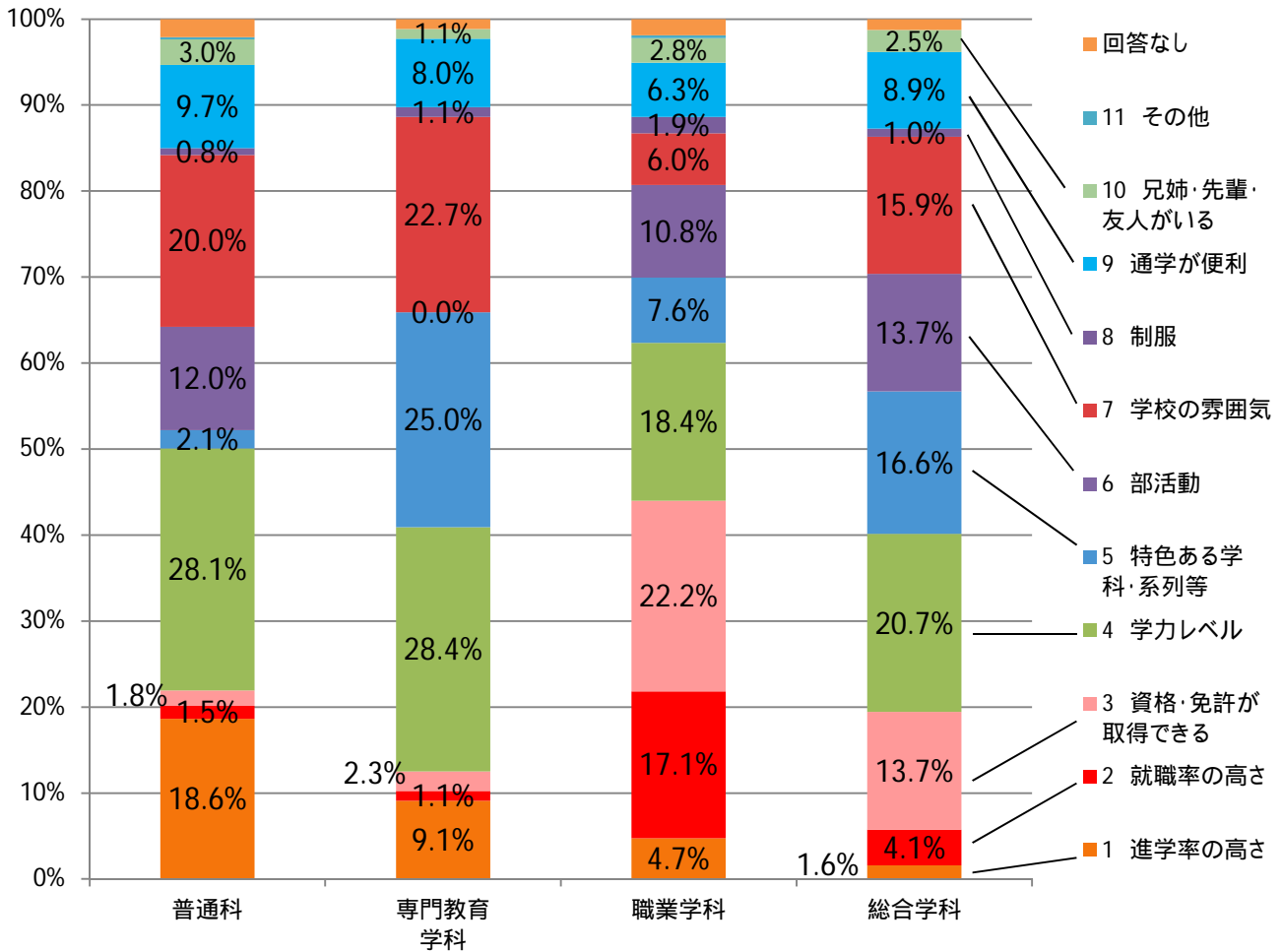
中3保護者



【回答数:964】

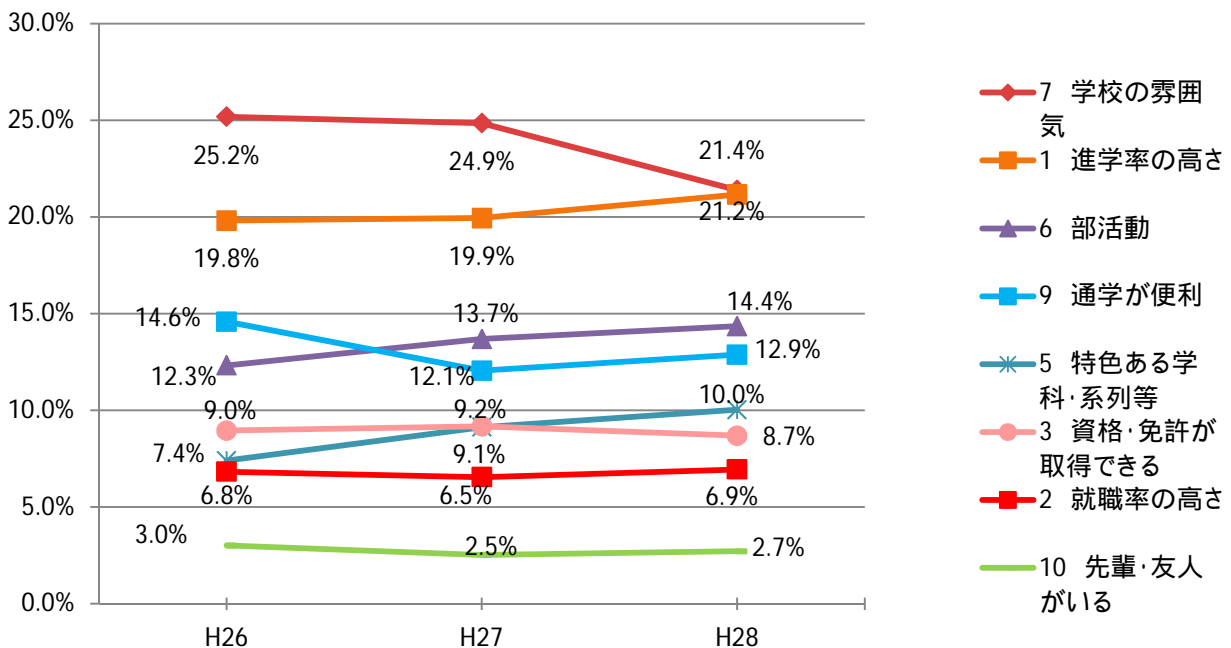
中3生徒及び保護者では、「学力レベル」「学校の雰囲気」が共通して主要な理由である。保護者では、通学の便も、学校選択の大きな要素となっている。

中3生徒の希望学科別の学校選択理由



普通科では「進学率の高さ」、専門教育学科では「特色ある学科・系列等」、職業学科では「就職率の高さ」「資格・免許が取得できる」の回答が多い。全学科共通で学力レベルは主要な回答の一つとなっている。

中3生徒の学校選択理由の推移 (H26～28調査)

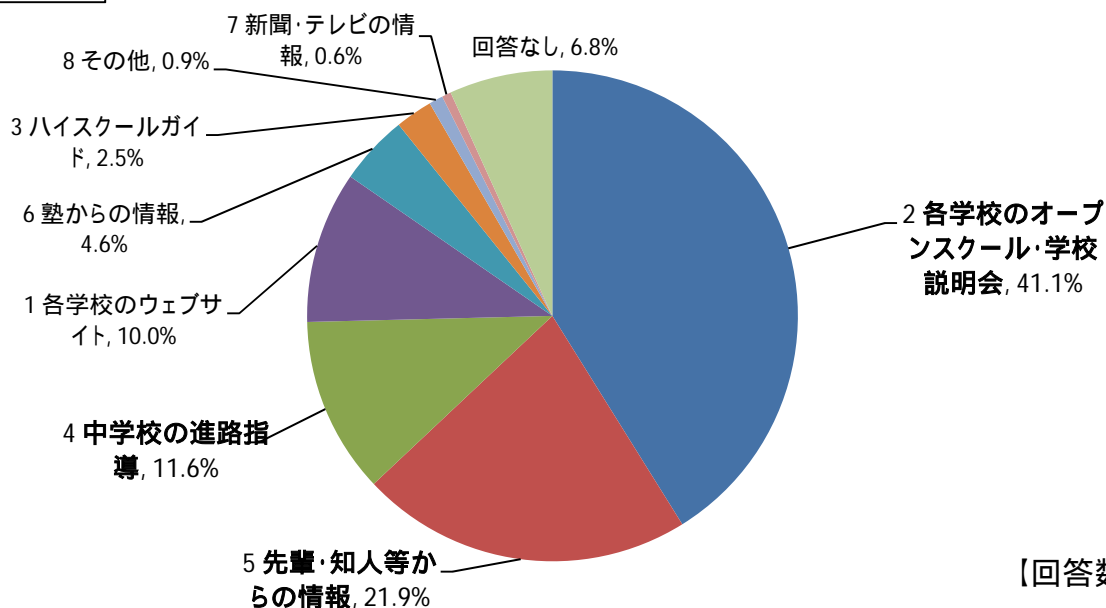


H29年度調査より、選択肢に2項目(「学力レベル」「制服」)を追加した。

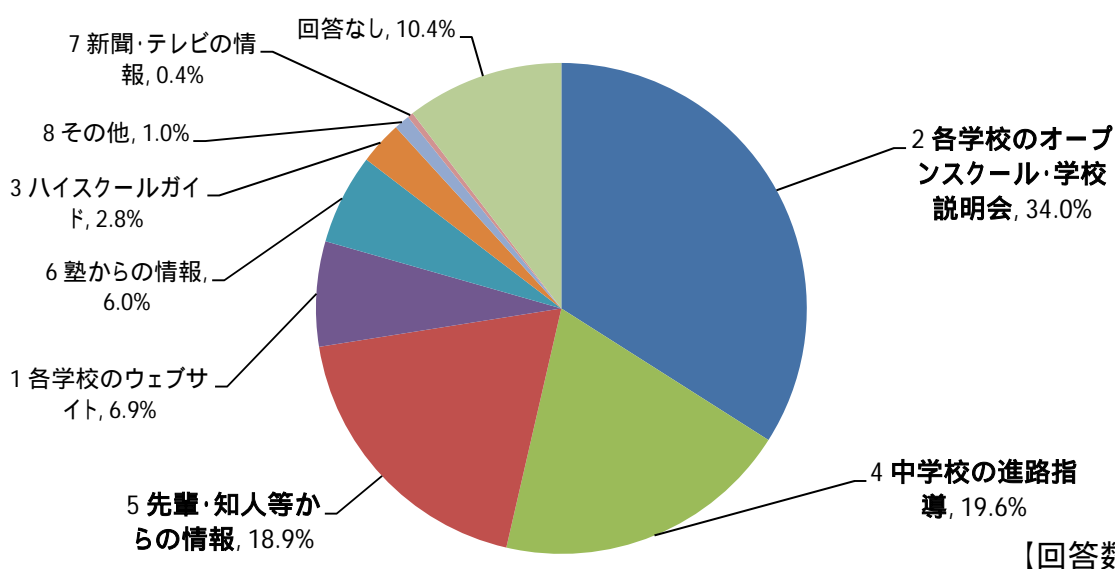
(質問) あなたが高校を選ぶとき、何を参考にしましたか？(次の中から2つ以内で選んでください。)

- 1 各学校のウェブサイト
- 2 各学校のオープンスクール・学校説明会
- 3 ハイスクールガイド
- 4 中学校の進路指導
- 5 先輩・知人等からの情報
- 6 塾からの情報
- 7 新聞・テレビの情報
- 8 その他

中3生徒



高1生徒

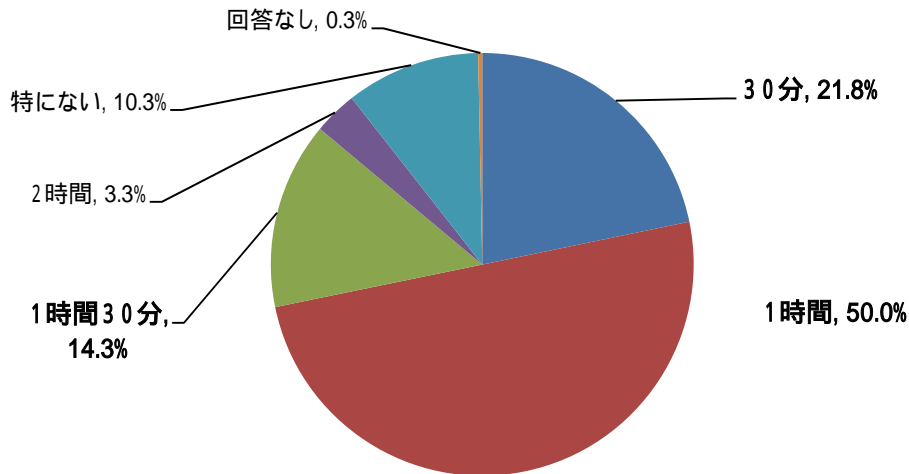


中3生徒及び高1生徒に共通して「各学校のオープンスクール・学校説明会」「先輩・知人等からの情報」「中学校の進路指導」が主要な回答となっている。特に、オープンスクール等は、生徒の進路選択への影響が大きいと考えられる。

(質問) 通う(通わせる)場合、通学にかかる片道の時間の限界は、どのくらいと考えますか？(次の中から1つ選んでください。)

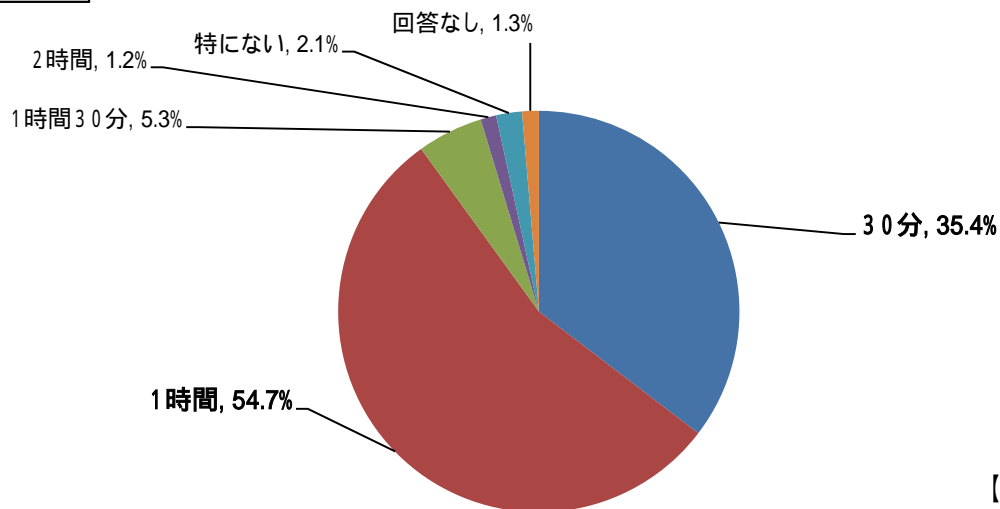
1 30分 2 1時間 3 1時間30分 4 2時間 5 特にない

中3生徒



【回答数:1,020】

中3保護者



【回答数:964】

通学時間の限界として、中3保護者では1時間までの回答が90.1%である。一方、実際に通学することとなる中3生徒では、1時間までの回答が71.8%、1時間30分までが14.3%と回答しており、保護者よりも、長時間通学となる学校選択も許容すると考えられる。

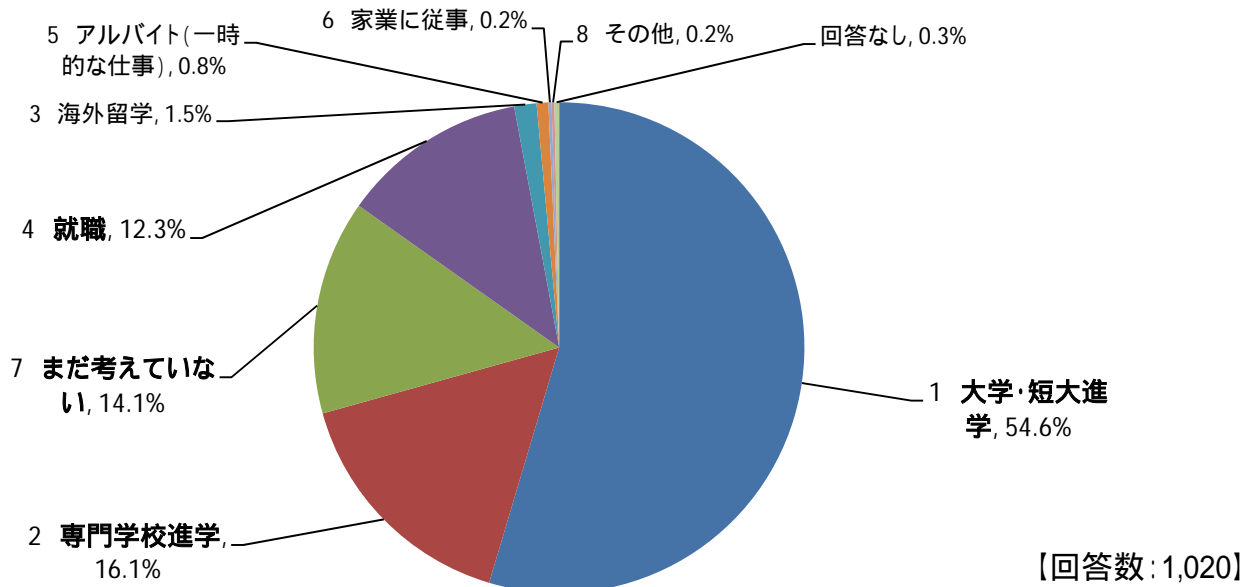
高校卒業後の希望

【中3生徒】

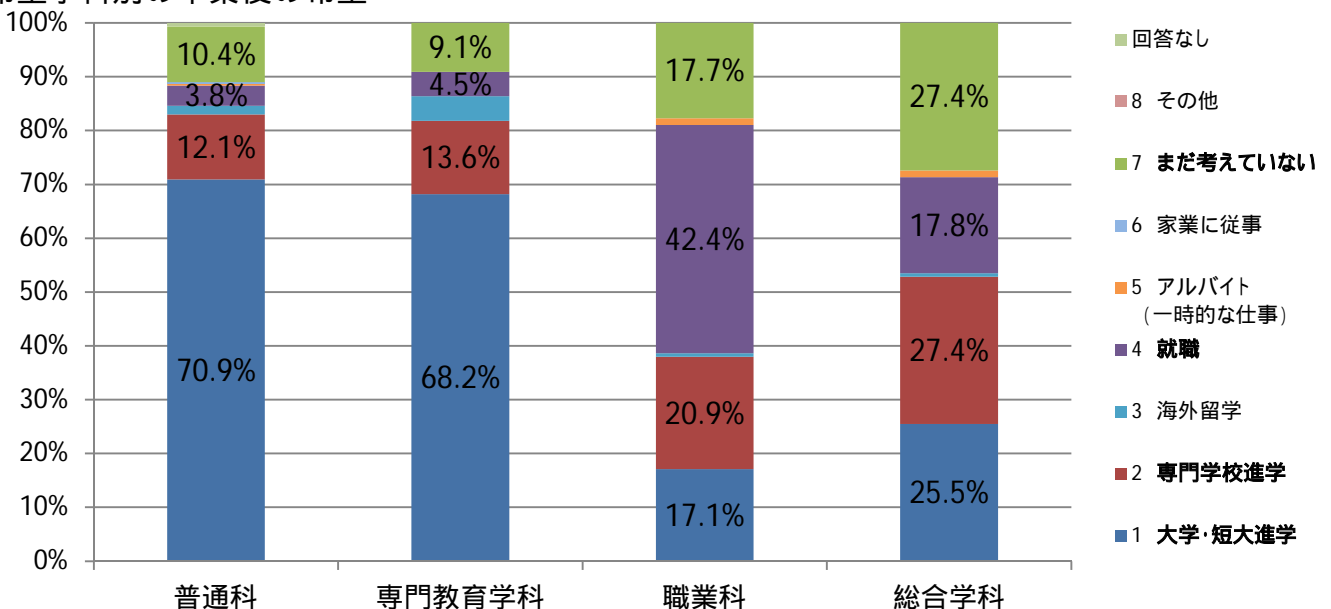
(質問) あなたは、高校卒業後、どのような進路を考えていますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 大学・短大進学 2 専門学校進学 3 海外留学 4 就職
- 5 アルバイト(一時的な仕事) 6 家業に従事 7 まだ考えていない 8 その他

中3生徒



希望学科別の卒業後の希望



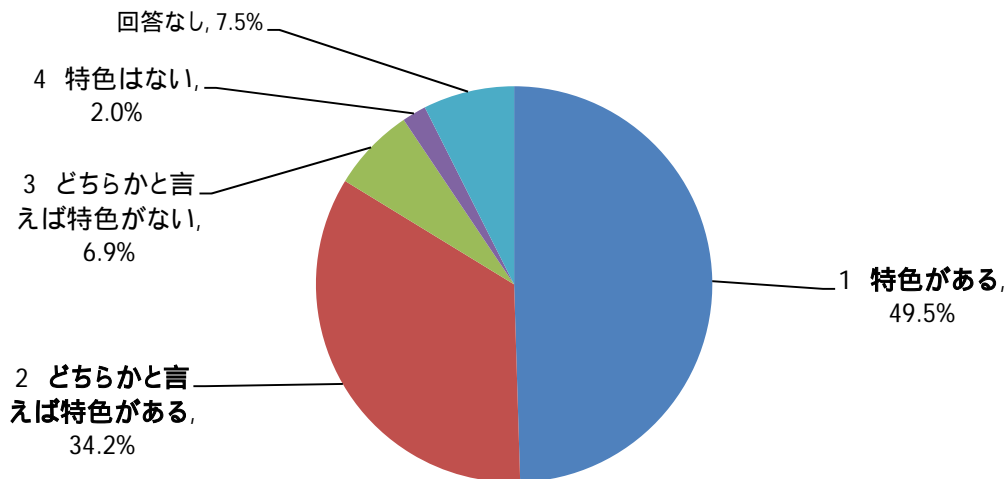
中3生徒全体としては、「大学・短大進学」が過半数を占める。また、「まだ考えていない」生徒も14.3%と相当数回答している。

希望学科別では、職業科希望者も「大学等」及び「専門学校進学」希望に38.0%回答がある。また、総合学科希望者は、他の学科希望者より「まだ考えていない」の回答が多い。

(質問) 公立高校への進学を希望している方にお聞きします。あなた(あなたの子供)が希望する高校は、その他の高校と比べ教育活動や部活動などの面でわかりやすい特色がありますか？
(次の中から1つ選んでください。)

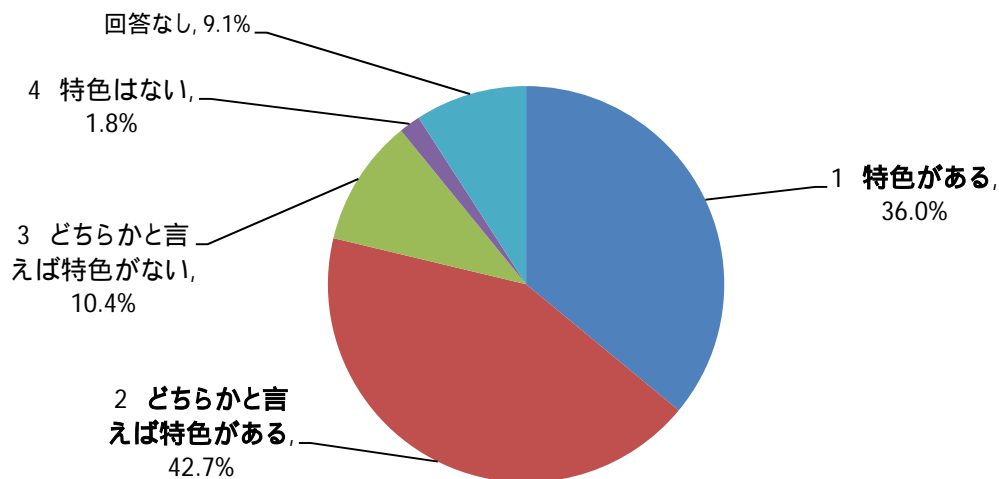
- 1 特色がある 2 どちらかと言えば特色がある 3 どちらかと言えば特色がない 4 特色はない

中3生徒



【回答数:1,020】

中3保護者



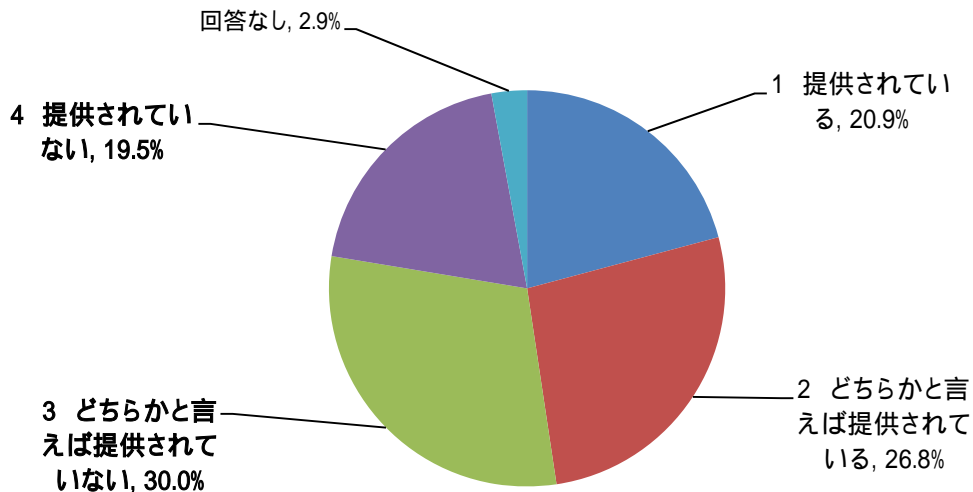
【回答数:964】

中3生徒・保護者ともに、「特色がある」「どちらかと言えば特色がある」が回答の多数を占める。しかし、「特色はない」「どちらかと言えば特色がない」の回答も一定数あることから、各学校においてはよりわかりやすい特色を打ち出したり、特色を理解してもらおう活動についてさらなる努力が必要である。

(質問) 公立高校へ就学する費用(授業料、諸費用、制服代、教科書代等)の情報について、各高校から提供(オープンスクール・学校説明会など)されていますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 提供されている
- 2 どちらかと言えば提供されている
- 3 どちらかと言えば提供されていない
- 4 提供されていない

中3保護者

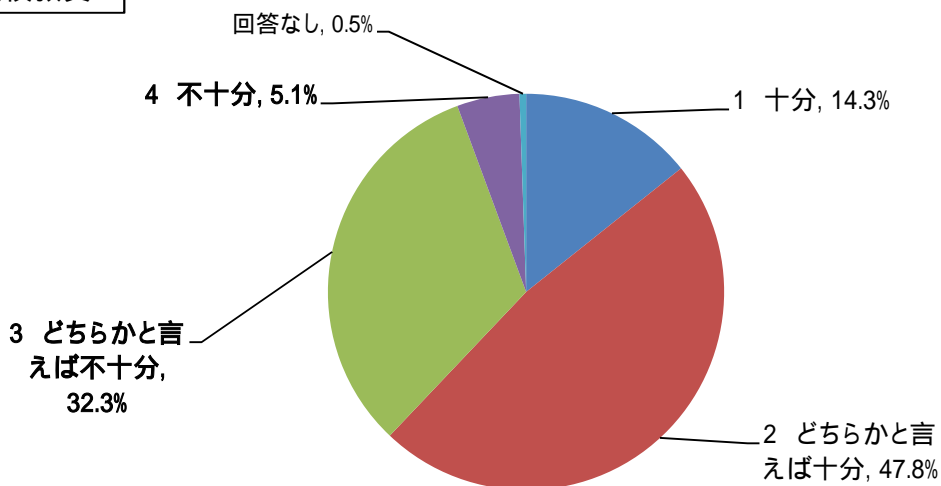


【回答数:964】

(質問) 高校へ就学する費用(授業料、諸費用、制服代、教科書代等)に関する高校から中学校や生徒・保護者への情報提供の状況について、どう思いますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 十分
- 2 どちらかと言えば十分
- 3 どちらかと言えば不十分
- 4 不十分

高校教員



【回答数:567】

高校の教員では、「十分」「どちらかと言えば十分」の回答が過半数である。一方、中3保護者では、提供が不十分という向きの回答が半数近くあるなど、就学のための費用の情報提供について高校と中3保護者の間で現状認識の違いがある。

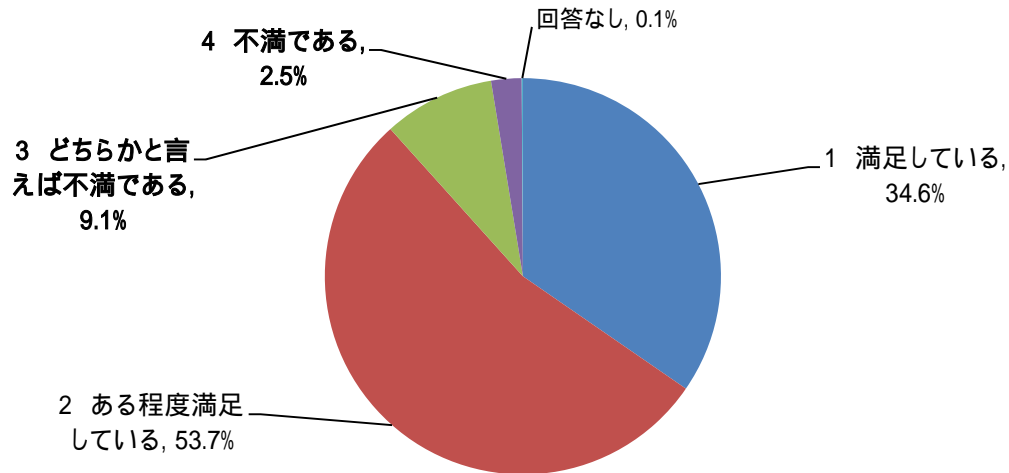
就学に要する費用は重要な関心事であるため、各県立高校は積極的な情報提供につとめる必要がある。

(質問) 在籍している高校について、満足していますか？

(次の中から1つ選んでください。)

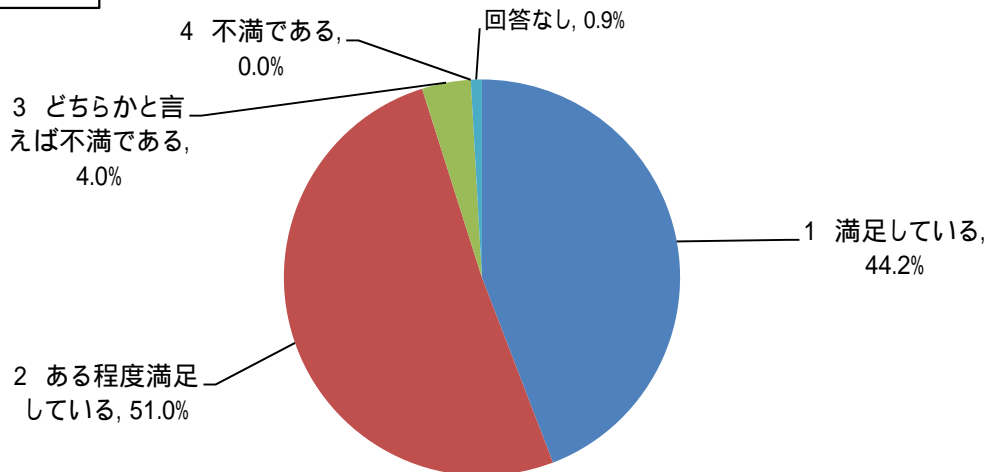
- 1 満足している 2 ある程度満足している 3 どちらかと言えば不満である 4 不満である

高1生徒



【回答数:1,176】

高1保護者

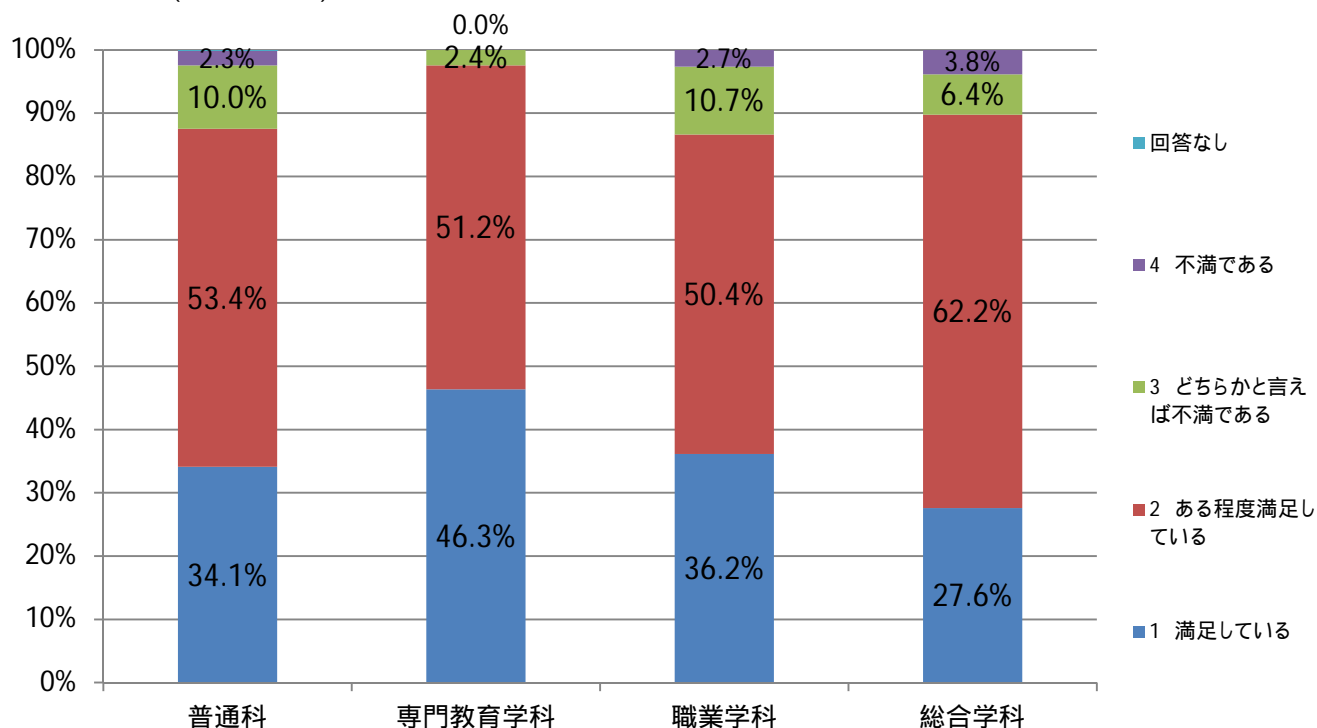


【回答数:964】

高1生徒及び保護者ともに、「満足している」「ある程度満足している」が多数である。

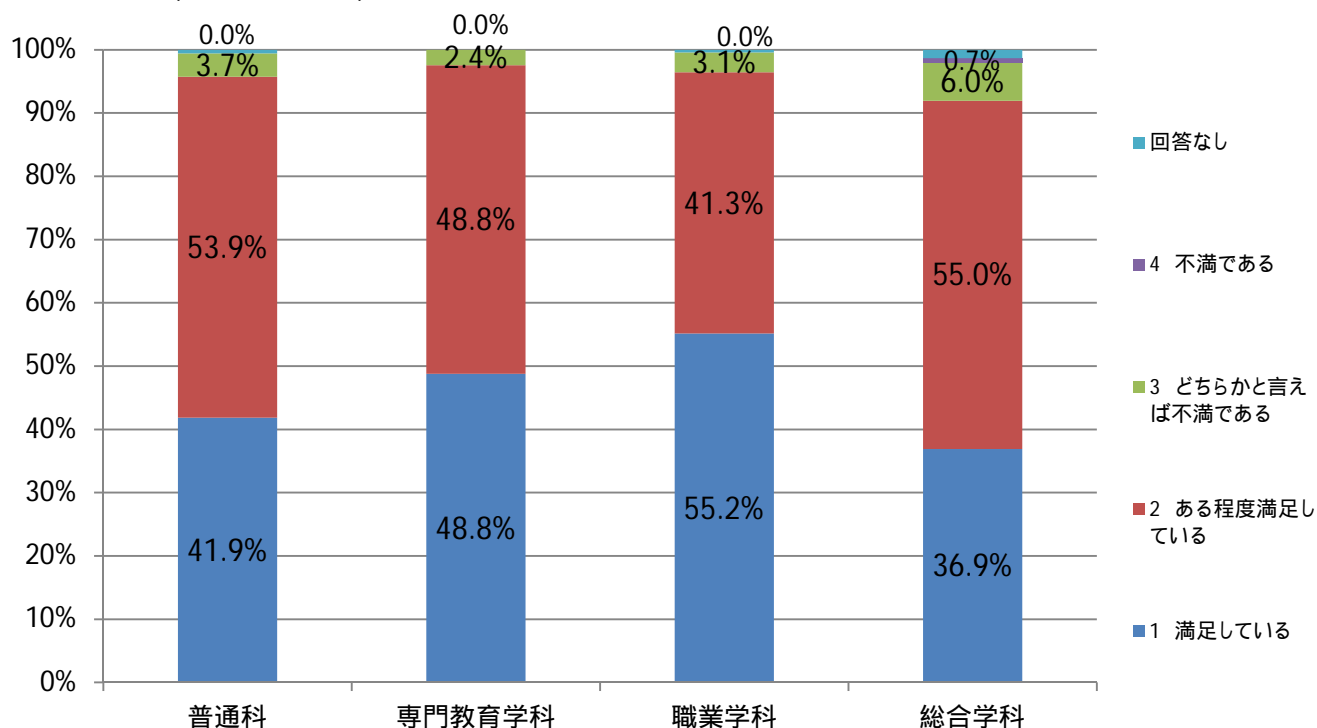
しかしながら、高1生徒では、「不満である」「どちらかと言えば不満である」が10%に上る。満足度を高める継続的な努力が必要である。

学科別(高1生徒)



高1生徒の学科別の満足度では、専門教育学科で「満足」「ある程度満足」合わせて97.5%と満足度が高最も高い。普通科と職業学科でやや不満度が高い。

学科別(高1保護者)

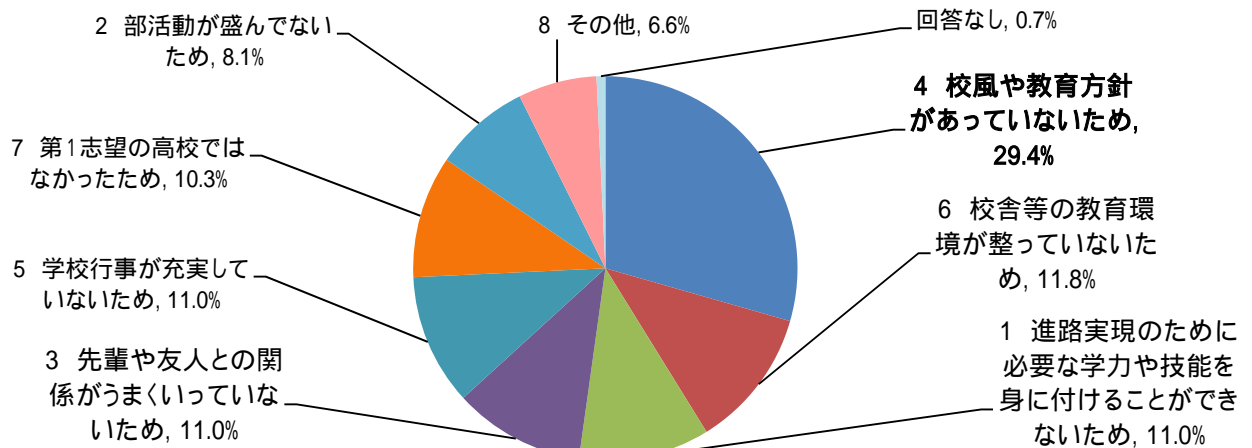


高1保護者では、全学科で満足度はおおむね良好であるが、総合学科で不満の向きの回答が若干多い。

(質問) 在籍している高校に「3 どちらかと言えば不満である」「4 不満である」と回答した人にお聞きします。答えた主な理由は何ですか？(次の中から1つ選んでください。)

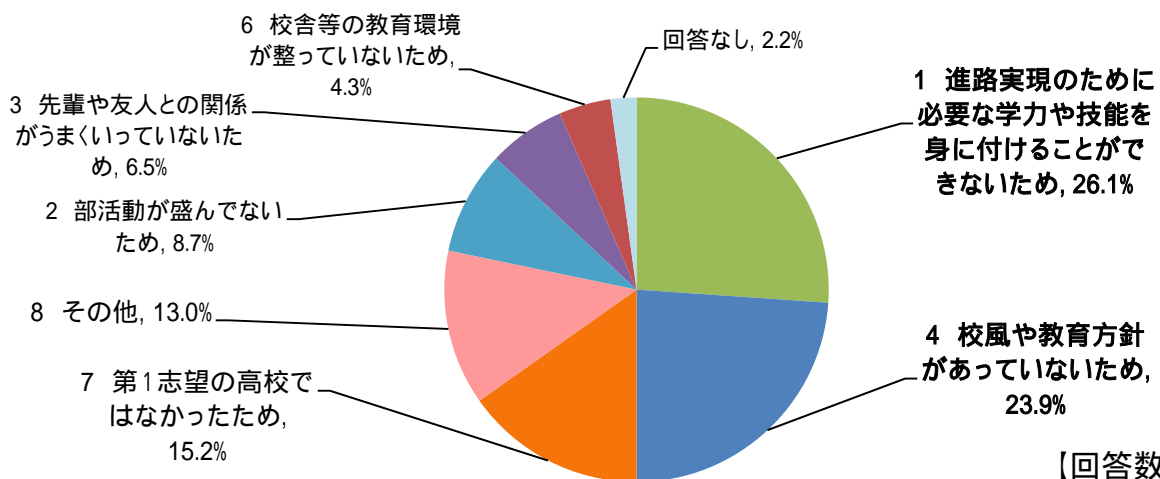
- 1 進路実現のために必要な学力や技能を身に付けることができないため
- 2 部活動が盛んでないため
- 3 先輩や友人との関係がうまくいっていないため
- 4 校風や教育方針があていないため
- 5 学校行事が充実していないため
- 6 校舎等の教育環境が整っていないため
- 7 第1志望の高校ではなかったため
- 8 その他

高1生徒



【回答数:136】

高1保護者

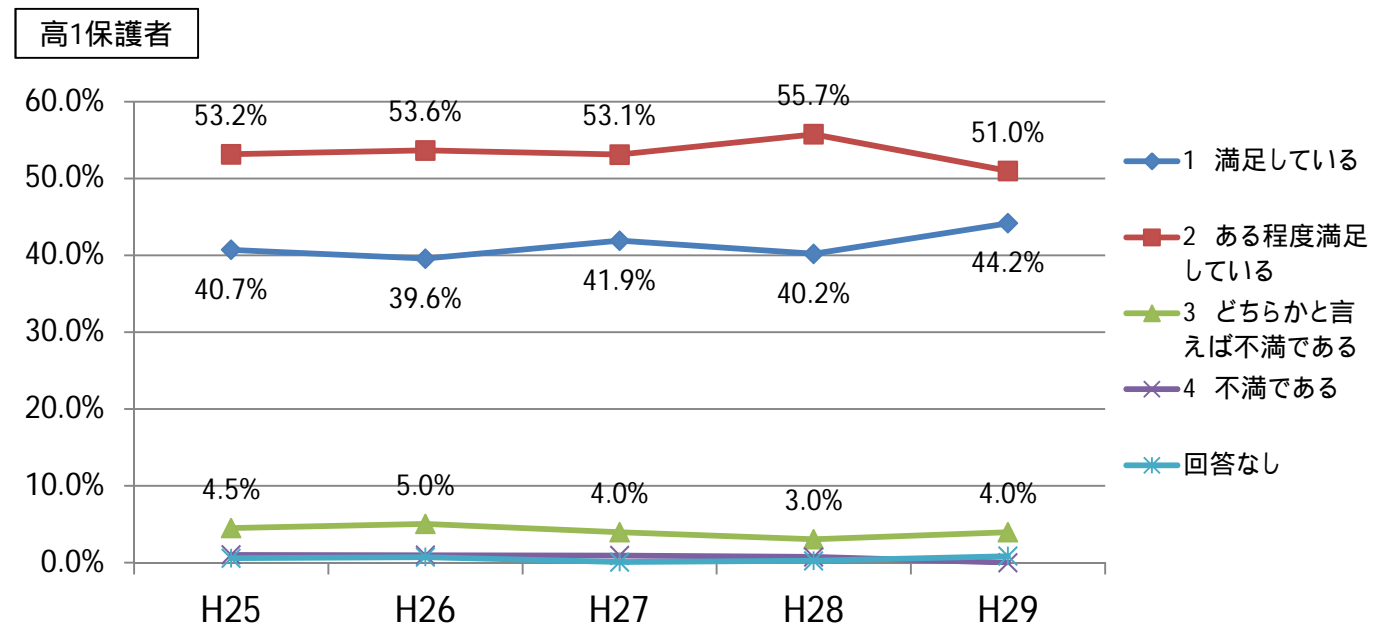
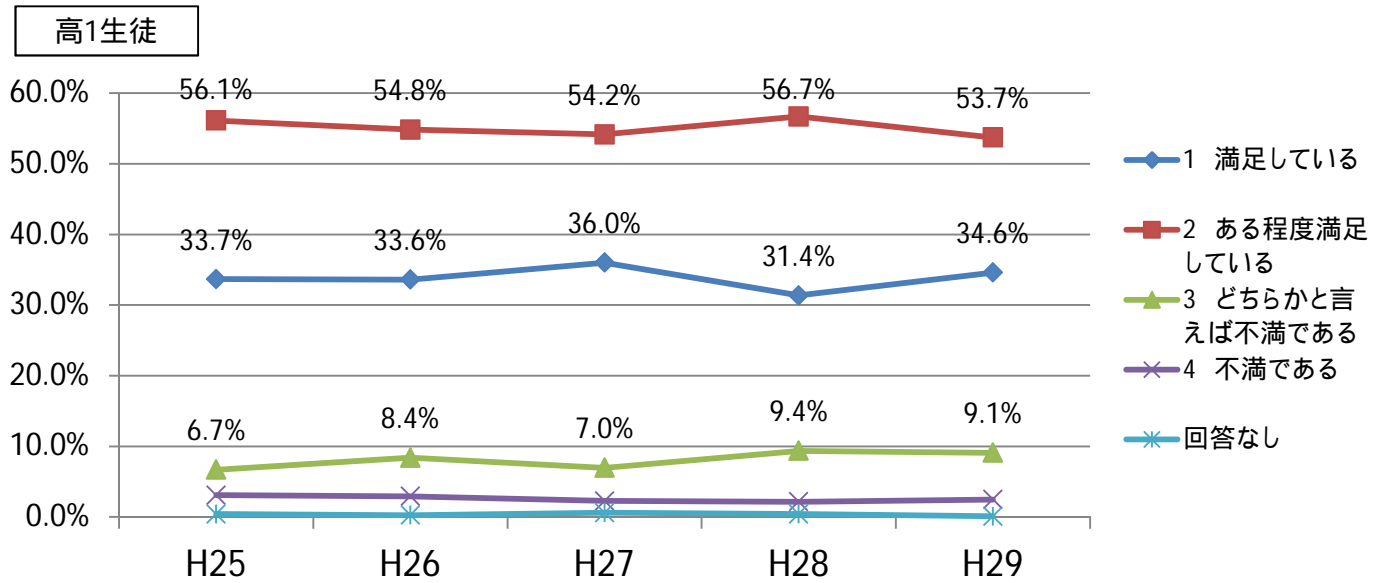


【回答数:46】

高1生徒及び保護者が学校に不満な理由については、高1生徒では、「校風や教育方針があていないため」がもっとも多い。

高1保護者では、「進路実現のために必要な学力や技能を身に付けることができないため」と「校風や教育方針があていないため」が多い。

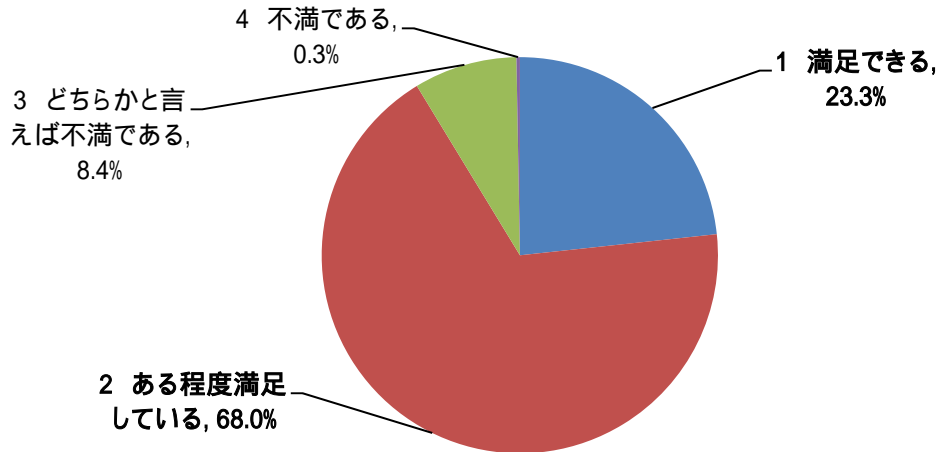
学校満足度の推移（H25～29調査）



高校満足度の推移では、高1生徒で、「どちらかと言えば不満」と回答する者がやや増加してきているものの、全体としてはおおむね良好な状態を維持している。

(質問) 現在の勤務校の地域にある公立高校(複数ある場合は全体として)の教育活動等についてどのように感じていますか？(次の中から1つ選んでください。)

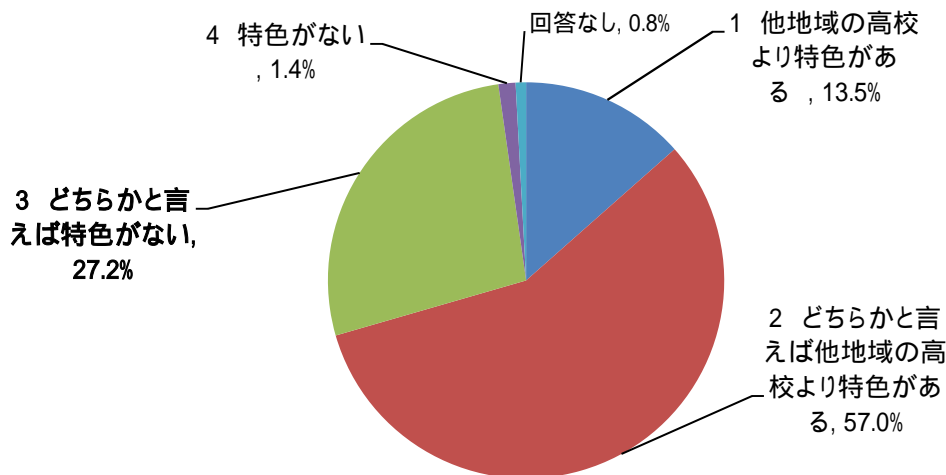
- 1 満足できる
- 2 どちらかと言えば満足できる
- 3 どちらかと言えば不満である
- 4 不満である



【回答数:356】

(質問) 現在の勤務校の地域にある公立高校(複数ある場合は全体として)の特色等についてどのように感じていますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 他地域の高校より特色がある
- 2 どちらかと言えば他地域の高校より特色がある
- 3 どちらかと言えば特色がない
- 4 特色がない



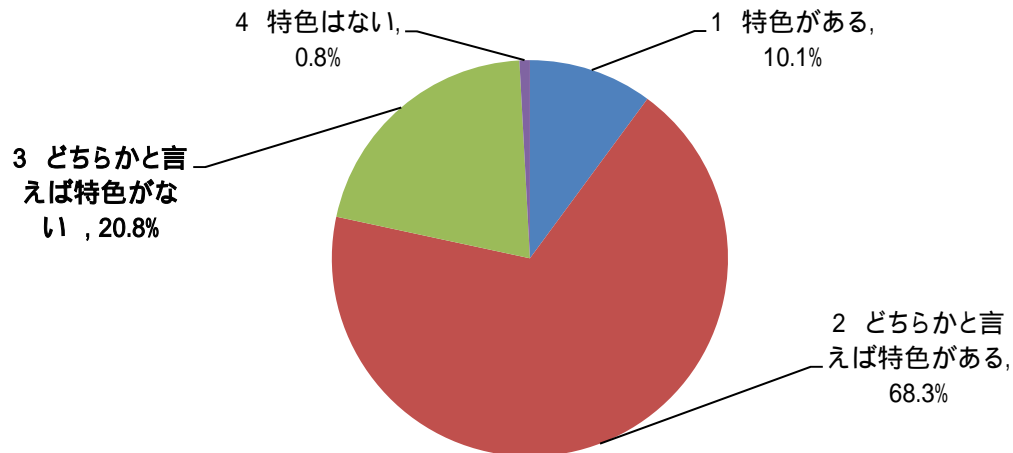
【回答数:356】

地域にある最寄りの県立高校の教育活動については、中学教員からは一定の評価を得ている。

各県立高校においては特色化を推進しているが、「どちらかと言えば特色がない」という回答が1/4を超える回答がある。特色化は図っているが活動が十分に伝わっていないか、特色化の推進が不十分であることが考えられる。

(質問) 県内の各公立高校は、進路指導に当たって、教育活動や部活動などの面でわかりやすい特色があると思いますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 特色がある
- 2 どちらかと言えば特色がある
- 3 どちらかと言えば特色がない
- 4 特色はない



【回答数:356】

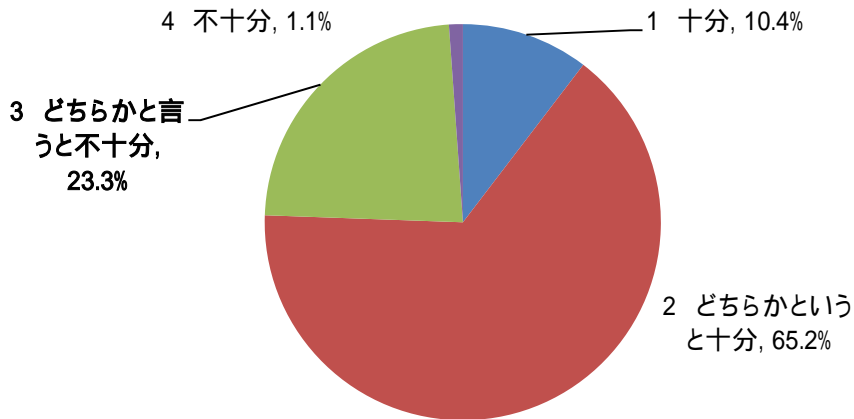
公立高校全体の印象としては、特色があるという回答が過半数であるが、特色がない向きの回答も20%程度ある。

それぞれの学校が特色づくりを進めているが、PRの方法なども含め、進路選択や進路指導がより容易になるよう特色化を図っていく必要がある。

(質問) 公立高校から、学校に関する情報(教育活動・学校行事・部活動など)の提供状況について
 はどう思いますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 十分 2 どちらかという
 と十分 3 どちらかと言
 うと不十分 4 不十分

中学教員

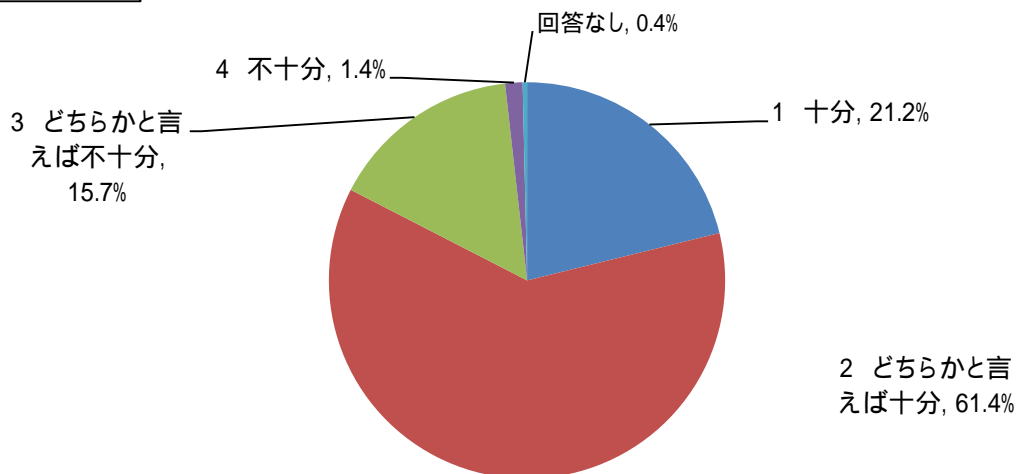


【回答数:356】

(質問) 現在勤務している高校において、中学生やその保護者への情報発信状況についてどう考
 えますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 十分 2 どちらかと言
 えば十分 3 どちらかと言
 えば不十分 4 不十分

高校教員



【回答数:567】

高校からの情報発信については、中学教員及び高校教員ともに、十分ではない方向の回答が一定割合ある状況である。

各県立高校においては、さらなる情報発信や情報開示を推進していく必要がある。

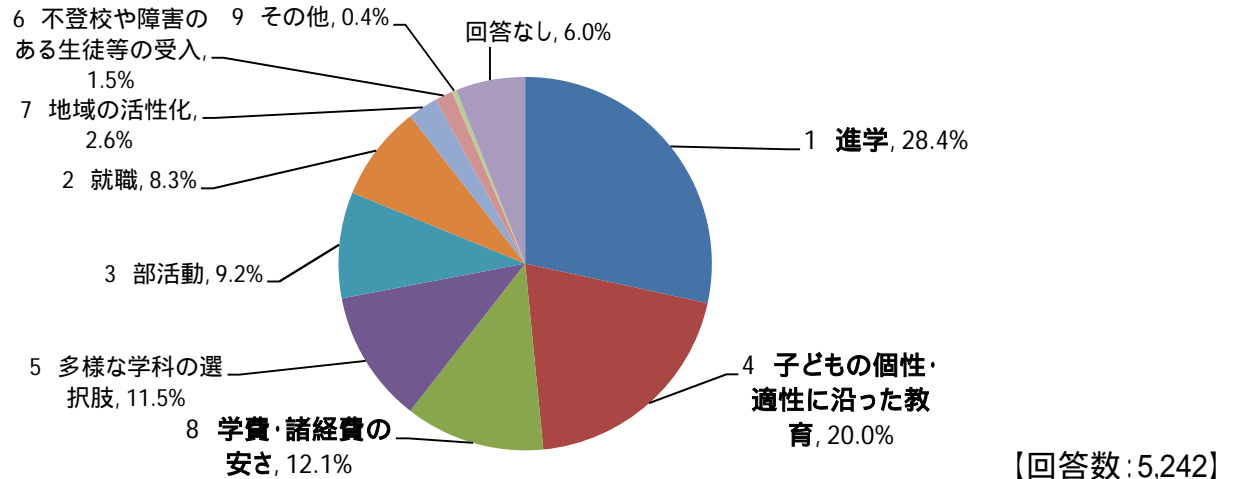
5 魅力ある高校づくりについて

今後の魅力ある高校づくりに関わる諸項目について、考え方を尋ねた。

公立高校への期待・公立高校の役割 [全調査対象者]

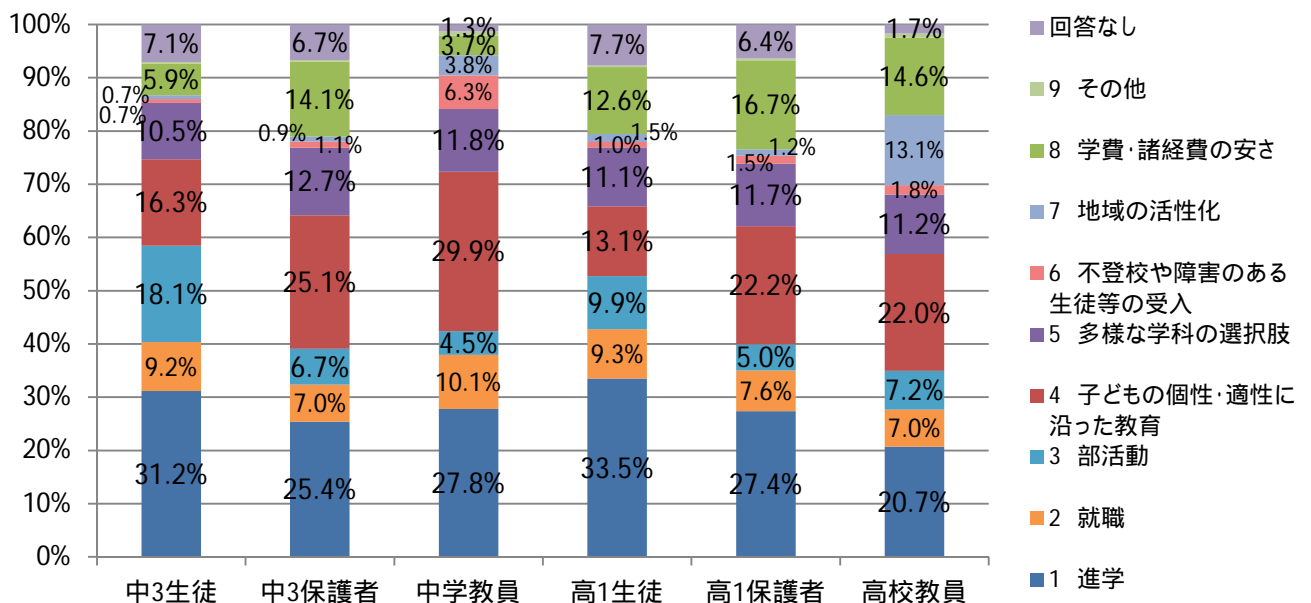
(質問) 公立高校に期待するもの・期待する役割は何ですか？(次の中から2つ以内で選んでください。)

- 1 進学 2 就職 3 部活動 4 子どもの個性・適性に沿った教育 5 多様な学科の選択肢
6 不登校や障害のある生徒等の受入 7 地域の活性化 8 学費・諸経費の安さ 9 その他



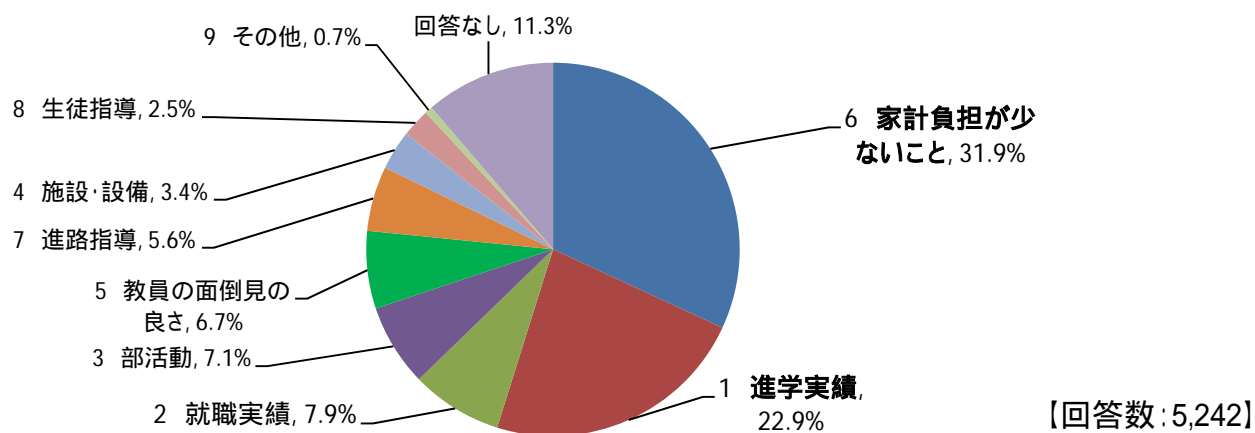
公立高校へ期待する役割としては、「進学」「子どもの個性・適性に沿った教育」の回答が多い。

調査対象者別



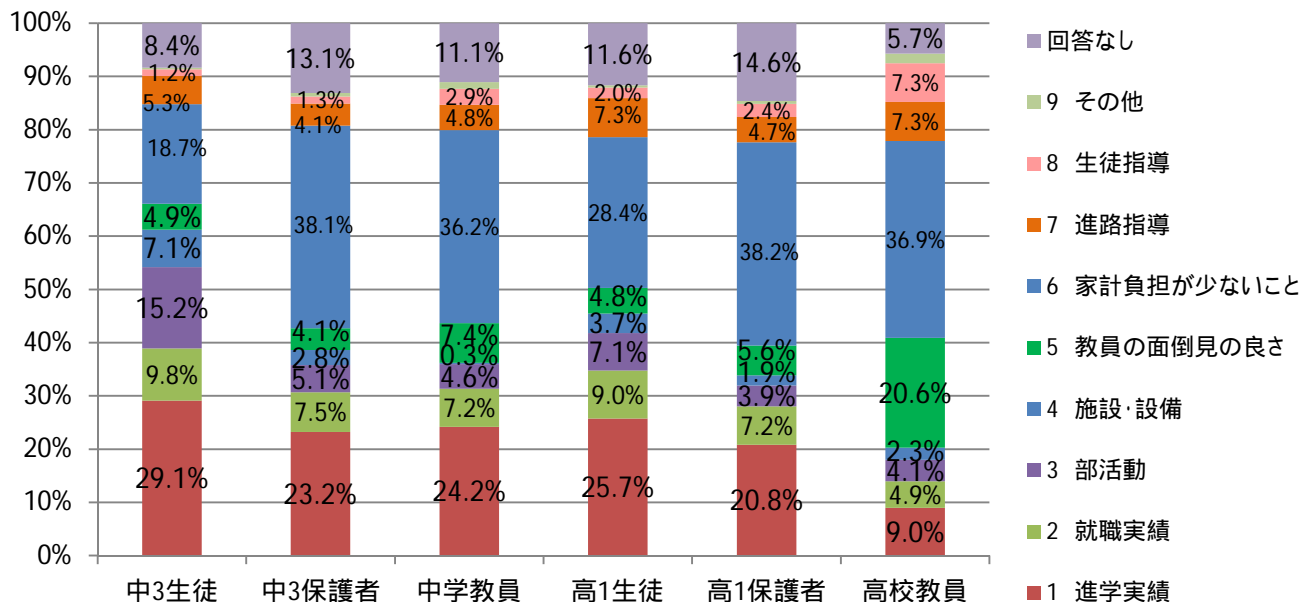
(質問) 公立高校の魅力は何ですか？(次の中から2つ以内選んでください。)

- 1 進学実績 2 就職実績 3 部活動 4 施設・設備 5 教員の面倒見の良さ
6 家計負担が少ないこと 7 進路指導 8 生徒指導 9 その他



公立高校の魅力としては、「家計負担が少ないこと」「進学実績」の回答が半数を超える。役割、魅力ともに、「進学」への期待感が重要な要素となっている。

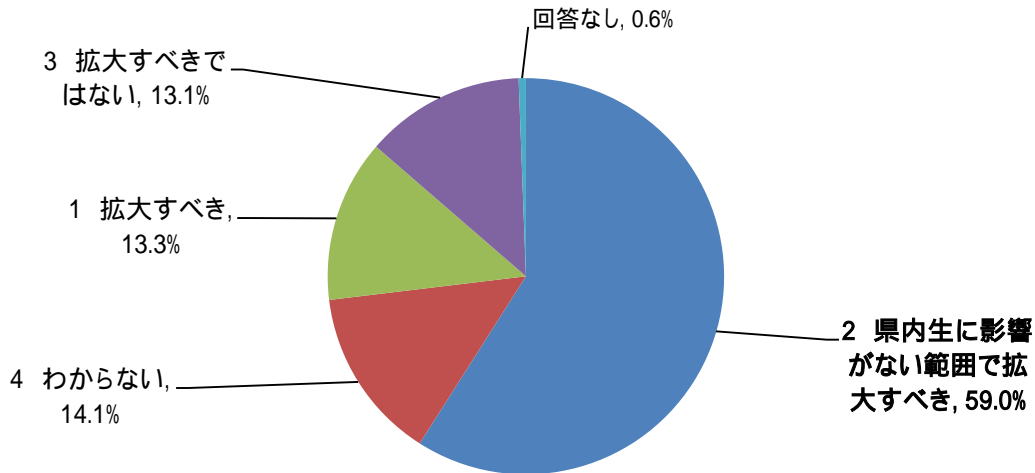
調査対象者別



(質問) 将来、子どもの数が大幅に減少することが見込まれる中、生徒数の確保のため県外から生徒を募集するという考え方もあります。県外募集についてはどのように考えますか？

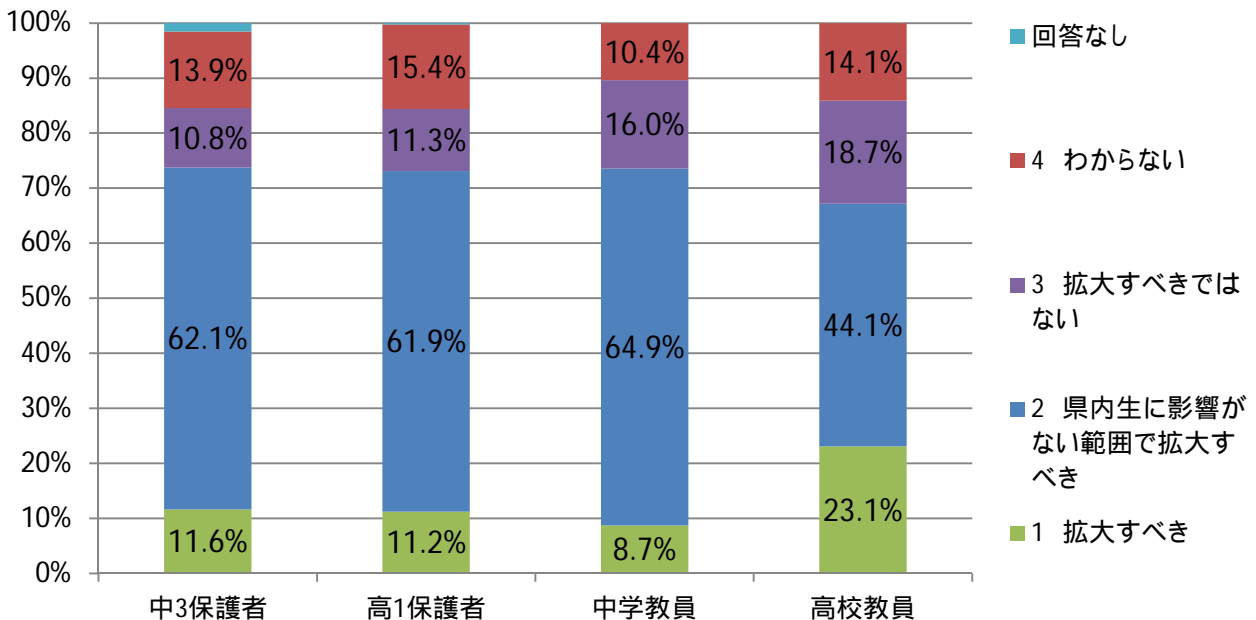
(次の中から1つ選んでください。)

- 1 拡大すべき
- 2 県内生に影響がない範囲で拡大すべき(欠員分・定員外など)
- 3 拡大すべきではない
- 4 わからない



【回答数:3,046】

調査対象者別

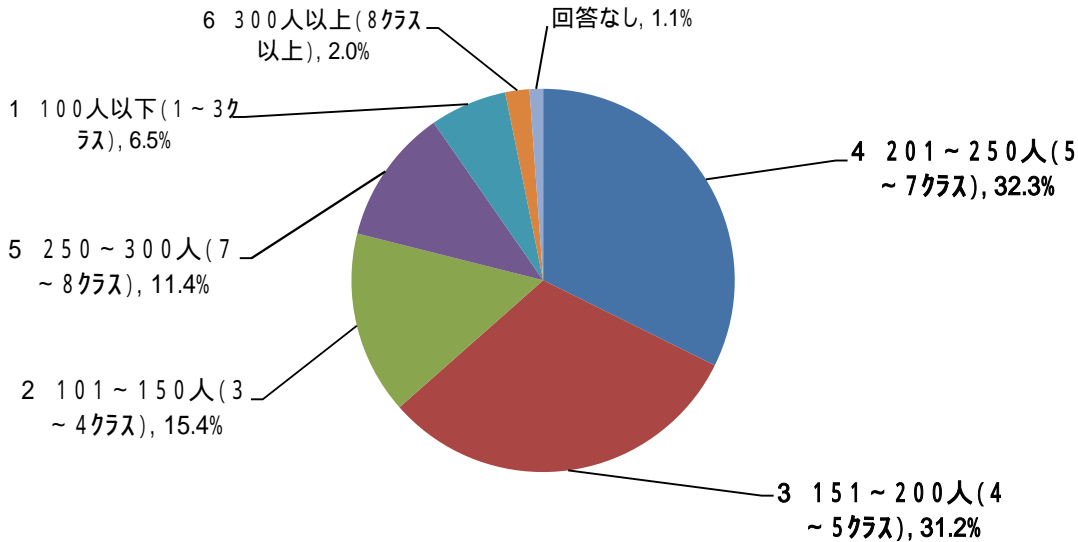


県外募集については、条件付きで拡大に賛成する回答がもっとも多い。調査対象者別では、高校教員で、「拡大すべき」の回答率が高かった。

県内生に影響が出ない範囲での県外からの出願を拡大する方法について、その条件整備も含め、今後は検討していく必要がある。

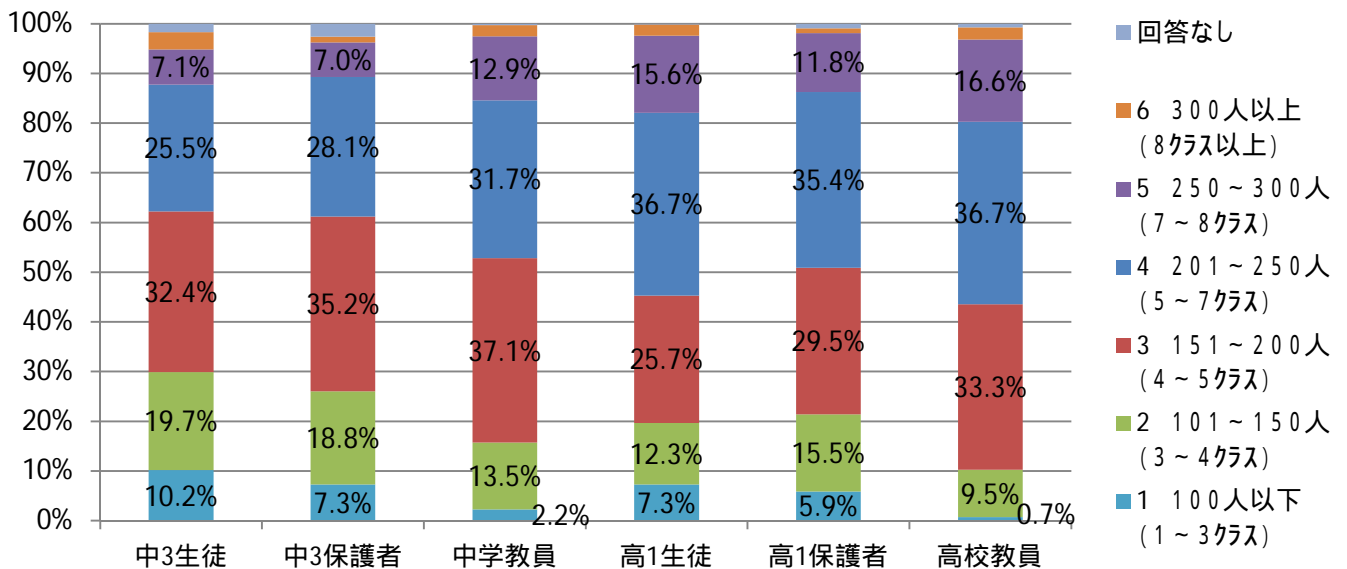
(質問) 理想的な公立高校の規模は一学年何人ぐらいですか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 100人以下(1～3クラス) 2 101～150人(3～4クラス) 3 151～200人(4～5クラス)
 4 201～250人(5～7クラス) 5 250～300人(7～8クラス) 6 300人以上(8クラス～)



【回答数:5,242】

調査対象者別



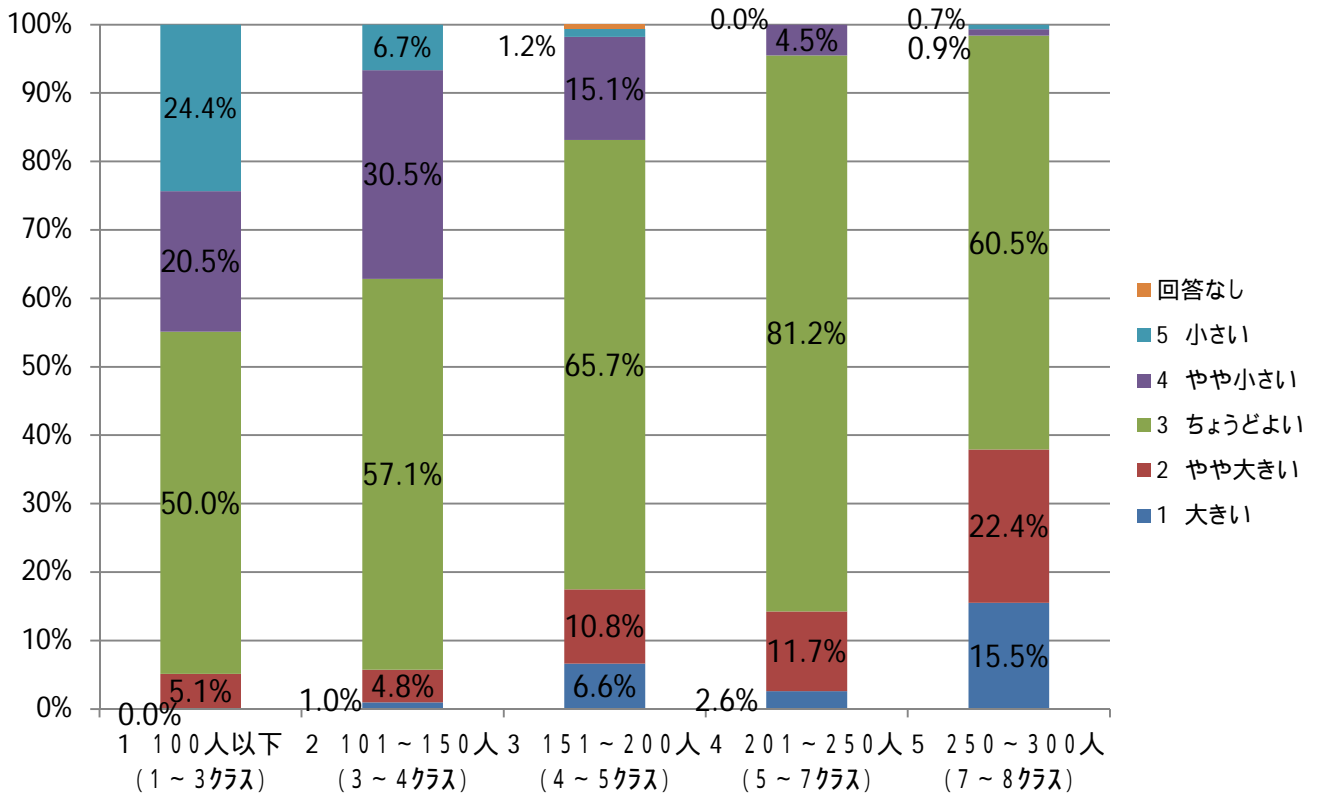
全体では、「201～250人(5～7クラス)」の回答がもっとも多く、次いで「151～200人(4～5クラス)」の回答が多い。

調査対象者別では、中3生徒及び保護者で比較的小規模を望む回答が多い。運営側の高校教員では、一定規模の確保を望んでいる傾向が見られる。

(質問) 現在在籍している公立高校の規模(生徒数)をどう感じますか？(次の中から1つ選んでください。)

1 大きい 2 やや大きい 3 ちょうどよい 4 やや小さい 5 小さい

学校規模別(高1生徒)



【回答数:1,176】

高1生徒における現在の学校の規模感は、すべての規模の学校で、「ちょうどよい」の回答が多い。

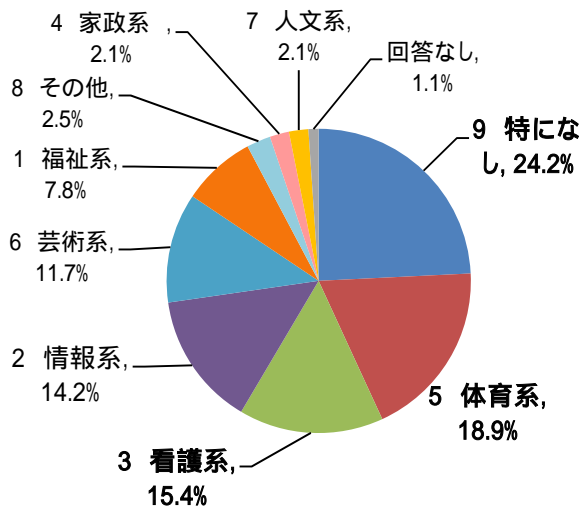
1学年定員150人以下の小規模の学校では、「ちょうどよい」の回答が他の学校よりやや少なく、「やや小さい」「小さい」の回答率が高い。

他方、1学年定員200人超の大規模な学校では、「やや大きい」「大きい」の回答率が高い。ちょうどよいと感じる生徒が多い一方、大きく感じる生徒も一定数いる状況である。

(質問) 山梨県の公立高校にあったら良いと思う分野の学科・コースはありますか？(次の中から1つ選んでください。)

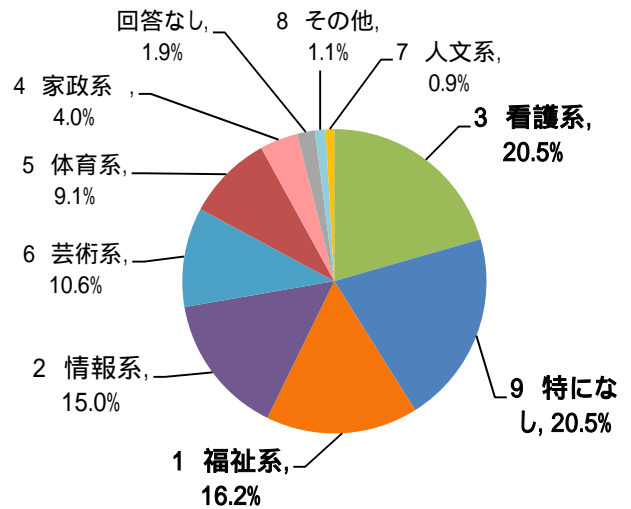
- 1 福祉系 2 情報系 3 看護系 4 家政系 5 体育系
6 芸術系 7 人文系 8 その他 9 特になし

中3生徒



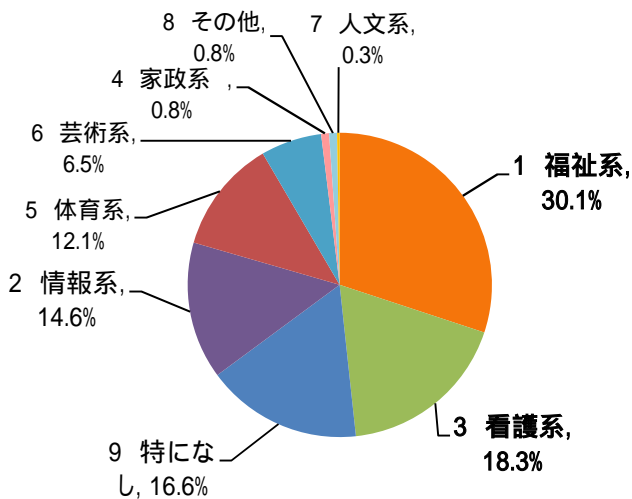
【回答数:1,020】

中3保護者



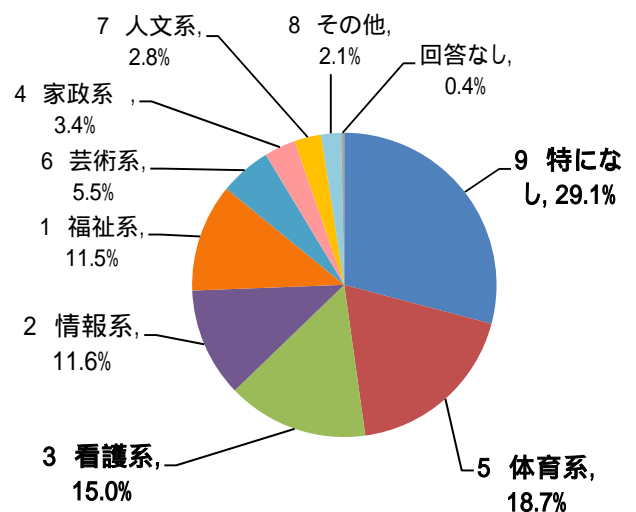
【回答数:964】

中学教員



【回答数:356】

高校教員



【回答数:567】

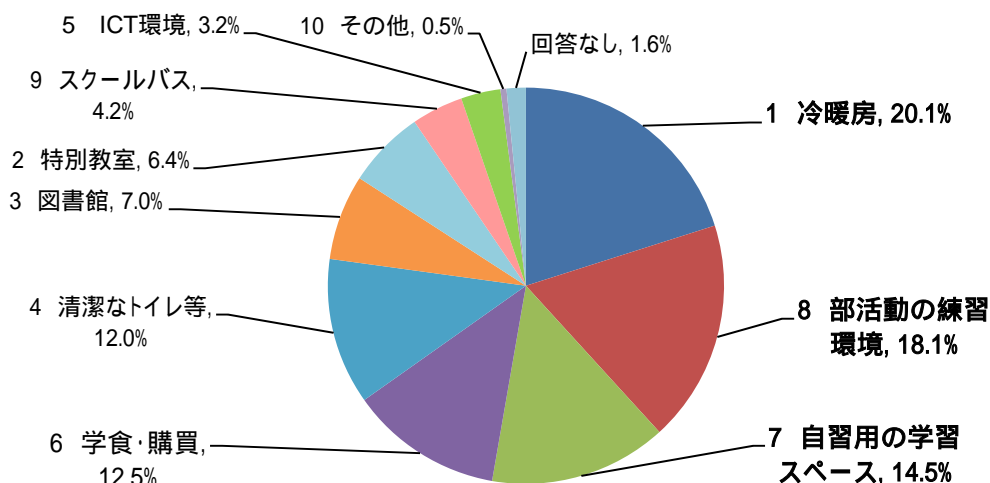
中3生徒では、体育系学科や看護系学科を望む回答が多い。中3保護者では看護系学科や福祉系学科を望む回答が多い。

中学教員では、福祉系学科や看護系学科、高校教員では体育系学科や看護系学科を望む回答が多い状況である。

(質問) 公立高校にどのような施設・設備の充実を求めますか？最も優先するものを1つ選んでください。(次の中から1つ選んでください。)

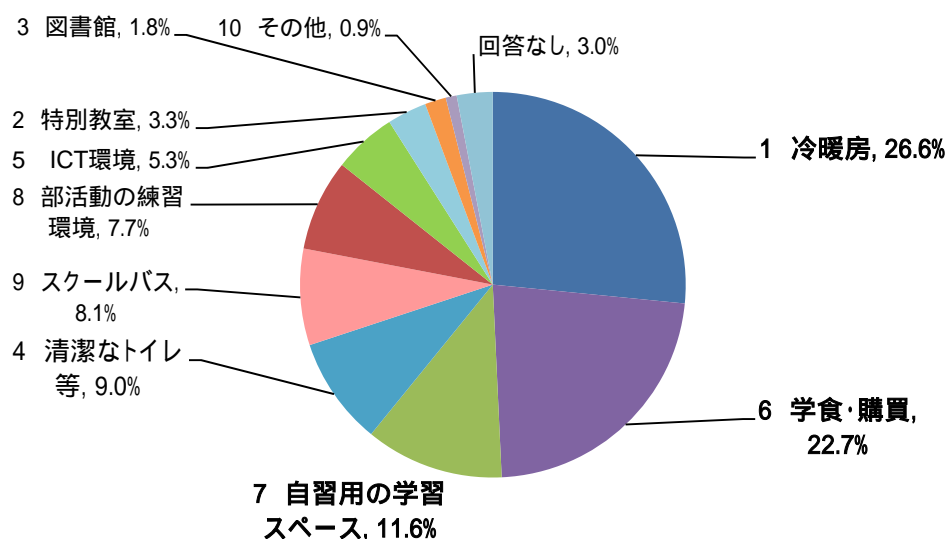
- 1 冷暖房(エアコンなど) 2 特別教室(音楽室、実習室など) 3 図書館 4 清潔なトイレ等
5 ICT環境 6 学食・購買 7 自習用の学習スペース 8 部活動の練習環境
9 スクールバス 10 その他

中3生徒



【回答数:1,020】

中3保護者



【回答数:964】

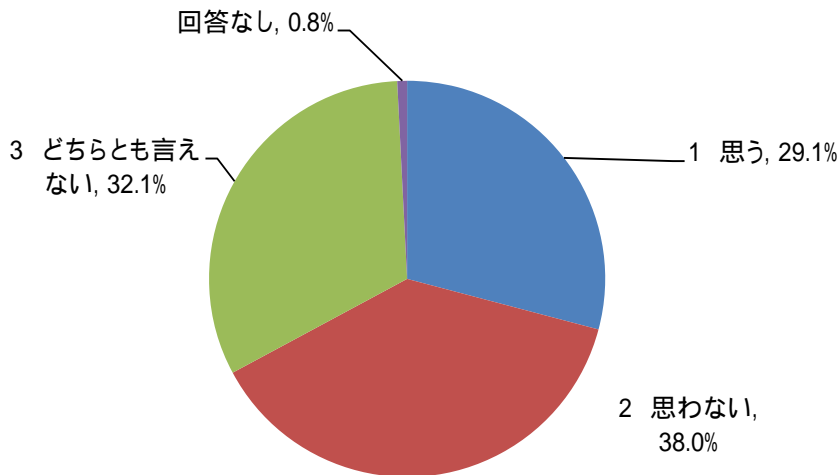
中3生徒及び保護者が公立高校に求める施設や設備として、「冷暖房」や「自習用の学習スペース」の回答が共通して多い。

それ以外の回答では、中3生徒では「部活動の練習環境」の回答が多く、中3保護者では「学食・購買」の回答が多い。

(質問) 通うのが難しい県内の遠方の高校でも、寮等があれば入学したい(入学させたい)と思いますか？(次の中から1つ選んでください。)

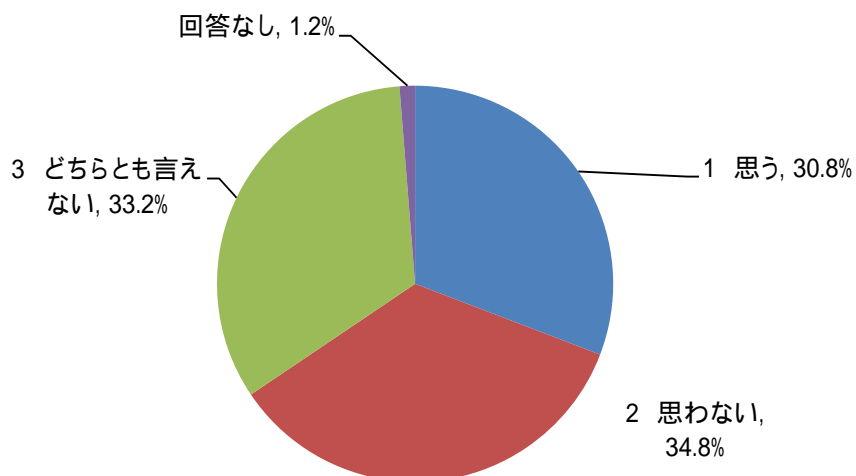
- 1 思う 2 思わない 3 どちらとも言えない

中3生徒



【回答数:1,020】

中3保護者



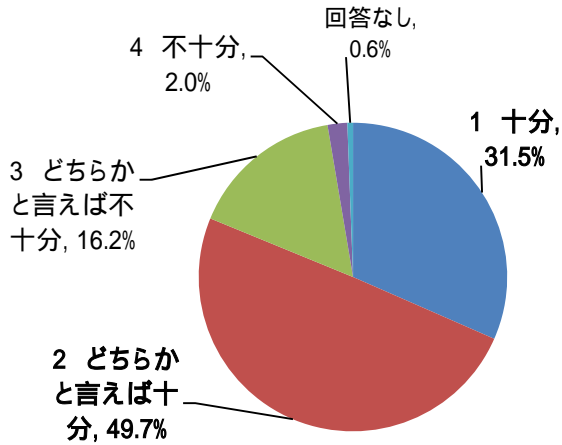
【回答数:964】

県内の遠方の高校でも寮があれば学校選択の対象となる向きの回答が、中3生徒及び保護者ともに3割程度見られた。「どちらとも言えない」という回答も多い。

(質問) 学校の教育活動や、学校行事、部活動などにおいて、地域との関わりはどのように感じますか？
(次の中から1つ選んでください。)

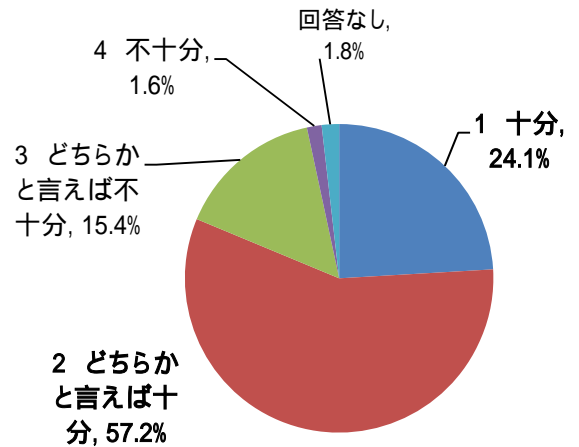
- 1 十分 2 どちらかと言えば十分 3 どちらかと言えば不十分 4 不十分

高1生徒



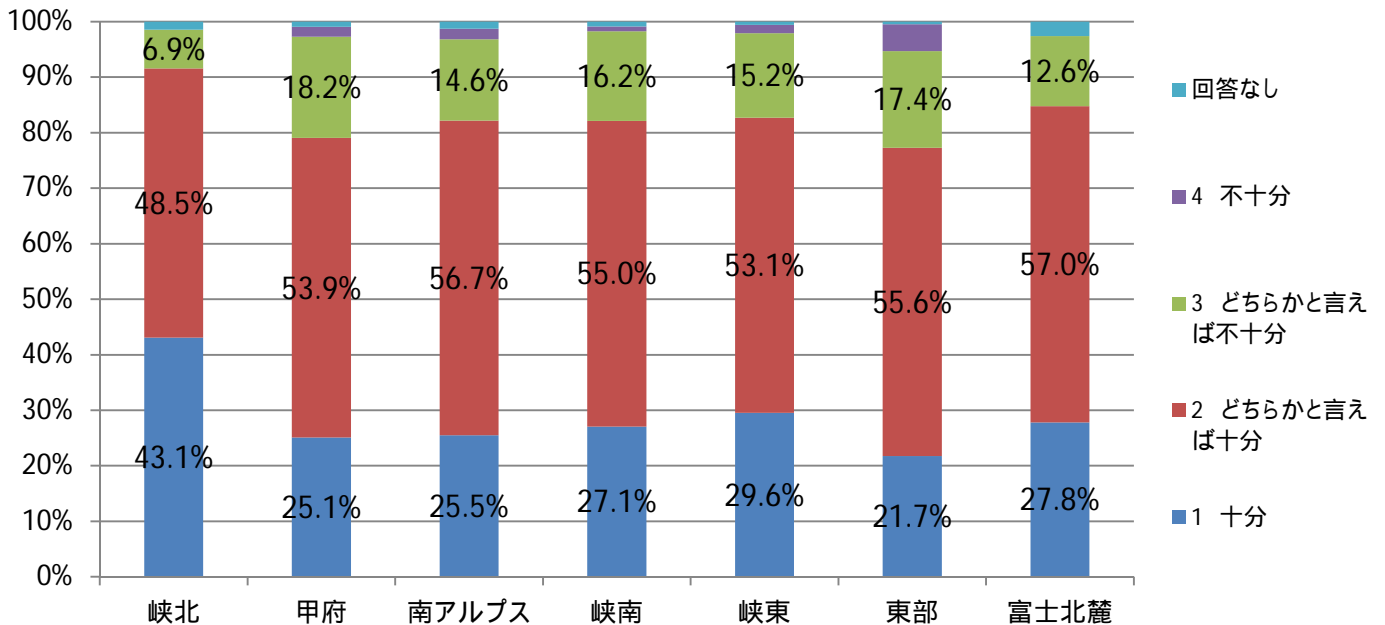
【回答数:1,176】

高1保護者



【回答数:1,159】

地域別(高1生徒・高1保護者)



高校とその地域との関わりについては、良好である向きの回答が大半であった。

地域別では、峡北地域で、地域との関わりが特に良好な印象を持たれている。北杜高校による、北杜市との包括連携協定に基づいた北杜市内における各種活動を始めとし、各校での地域における積極的な活動の表れであると考えられる。